大学番号 私立290

注３

設置年度　　平成　　30年度

計画の区分：　学部の設置

注１

認可

西九州大学　　看護学部　　看護学科

注２

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 永原学園
令和３年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名	事務局次長・山中（ヤマナカ） 健正（タケマサ） 総務課員・山﨑（ヤマサキ） 康史（ヤスフミ）
電話番号	0952-37-0249
（夜間）	0952-37-0132
ｅ－mail	nky_kango@nisikyu-u.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和３年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

＜看護学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３６
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人　永原学園

（２）大　学　名

西九州大学

（３）調査対象大学等の位置

小城キャンパス
〒８４５－０００１　　佐賀県小城市小城町１７６番地２７
（神埼キャンパス
〒８４２－８５８５　　佐賀県神埼市神埼町尾崎４４９０番地９）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（フクモト　ユウジ） 福元　裕二 （平成20年4月）		
学　　長	（フクモト　ユウジ） 福元　裕二 （平成29年4月）	（クギノ　ケンジ） 久木野　憲司 （令和2年4月）	理由：学長の任期満了に伴う選出 変更年月日：令和2年4月1日 （2）
学 部 長	（オカザキ　ミチコ） 岡﨑　美智子 （平成30年4月）		
学科長等	（オカザキ　ミチコ） 岡﨑　美智子 （平成30年4月）	（ナカシマ　ヨウコ） 中島　洋子 （平成31年4月）	平成31年4月着任のため（元）

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和２年度に報告済の内容　→（２）
令和３年度に報告する内容　→（３）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
・　様式は、平成２９年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係（看護学関係）	年 4	人 90	年次 人 －	人 360		

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	人 （　） ［　］	人	90人 （－） ［－］	－人	90人 （－） ［－］	－人	90人 （－） ［－］	－人	90人 （－） ［－］	－人	1.03倍	一倍	
志願者数	（　） ［　］	（　） ［　］	185 （－） ［－］	－ （－） ［－］	242 （－） ［－］	－ （－） ［－］	186 （－） ［－］	－ （－） ［－］	287 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
受験者数	（　） ［　］	（　） ［　］	181 （－） ［－］	－ （－） ［－］	236 （－） ［－］	－ （－） ［－］	181 （－） ［－］	－ （－） ［－］	285 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
合格者数	（　） ［　］	（　） ［　］	148 （－） ［－］	－ （－） ［－］	166 （－） ［－］	－ （－） ［－］	175 （－） ［－］	－ （－） ［－］	228 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
Ｂ　入学者数	（　） ［　］	（　） ［　］	94 （－） ［－］	－ （－） ［－］	97 （－） ［－］	－ （－） ［－］	78 （－） ［－］	－ （－） ［－］	105 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ			1.04		1.07		0.86		1.16				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	— [—] (—)	— [—] (—)	94 [—] (—)	— [—] (—)	97 [—] (—)	— [—] (—)	78 [—] (—)	— [—] (—)	105 [—] (—)	— [—] (—)	
２年次			— [—] (—)	— [—] (—)	93 [—] (—)	— [—] (—)	101 [—] (5)	— [—] (—)	85 [—] (8)	— [—] (—)	
３年次					— [—] (—)	— [—] (—)	88 [—] (—)	— [—] (—)	89 [—] (2)	— [—] (—)	
４年次							— [—] (—)	— [—] (—)	88 [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)		94 [—] (—)		190 [—] (—)		267 [—] (5)		367 [—] (10)		

・令和３年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・［　　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	退学者数	うち留学生数	主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	94 人	1 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	1 人	人	・他の教育機関への入学(1名)
令和元年度	190 人	1 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	1 人	人	・除籍（1名）
令和2年度	267 人	5 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	2 人	人	・除籍(2名)
			令和元年度	2 人	人	・学習意欲の低下（1名） ・他の教育機関への入学・転学（1名）
			令和2年度	1 人	人	・他の教育機関への入学・転学（1名）
令和3年度	367 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合　計		7 人		7 人	人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 1 / 94 = 1.06 %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 1 / 190 = 0.52 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 5 / 267 = 1.87 %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 0 / 367 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜看護学部　看護学科＞

（1）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	キャリア形成		あすなろうⅠ 基礎(初年次教育含)	1通	2			7	7	13	5		
			あすなろうⅡ 応用(地域課題)	2通	2			7	7	13	5		
			あすなろうⅢ 臨地協働	3前	1			7	7	13	5		
	地域連携・学部間連携基礎		生活支援	1前		2				2			兼7
			地域連携	1後		2							兼8
	人間と文化		心理学入門	1後	2								兼1
			現代社会と倫理	1前		2							兼1
			人間論と現代思想	1後		2							兼1
			文学と言語	1前		2							兼1
			生涯学習論	1前		2							兼1
			肥前の歴史と文化	1後		2							兼1
			脳と認知科学	1後		2							兼3
			法学	1前		2							兼1
			日本国憲法	1後		2							兼1
	くらしの科学		多文化社会学	1前		2							兼1
			くらしと経済	1前		2							兼1
			ジェンダー論	1後		2							兼1
			生命のしくみ	1前		2							兼1
			生物と環境	1後		2							兼1
			身近な生活の化学	1前		2							兼1
			統計学の基礎	1前		2							兼1
			身近な世界の物理	1前		2							兼1
			地球環境科学	1後		2							兼1
	健康スポーツ		健康運動科学	1前		2							兼1
			フィットネス・スポーツ	1前	1								兼2
			ウェルネス・スポーツ	1後	1								兼2
	国際理解		グローバル化と異文化共生	1前		2							兼1
			文化人類学	1後		2							兼1
			変わりゆく国際社会を生きる	1後		2							兼4
			日本事情(Japanese & World Issues)	1前		2							兼7
	外国語による コミュニケーション理解		Basic English Ⅰ	1後	1								兼1
			Basic English Ⅱ	2後	1								兼1
			Global English Ⅰ	1前	1								兼1
			Global English Ⅱ	2前	1								兼1
			Academic English Ⅰ	3後		1							兼1
			医療英語	2前	1								兼1
			英語コミュニケーション Ⅰ	1前		1							兼1
			英語コミュニケーション Ⅱ	1後		1							兼1
			Global Communication(English)	1前		2							兼1
			資格英語(ESP)	3前		1							兼1
			中国語	1後		1							兼1
			韓国語	1前		1							兼1
			日本語初級	3前		1							兼1
			日本語中級	3後		1							兼1
			日本語上級	3後		1							兼1
			語学研修	1前		1							兼1
	ICTの理解		情報処理入門	1前	1								兼2
			情報処理基礎	1後	1								兼2
小計(48科目)				ー	16	60	0	7	7	13	5	0	兼46
専門教育科目	専門基礎科目	いのちの科学	看護形態機能学Ⅰ	1前	2								兼1
			看護形態機能学Ⅱ	1後	2								兼1
			免疫と感染	1後	2								兼1
			臨床薬理学	2前	2								兼1
			病態栄養学	1後	2								兼4
			病理学	1後	2								兼1
			病態治療学Ⅰ(呼吸・循環器)	1後	2								兼1
			病態治療学Ⅱ(消化器・泌尿器)	1後	2								兼7
			態治療学Ⅲ(筋・骨格、感覚器	2前	2								兼1
			病態治療学Ⅳ(神経・難病、精神疾患)	2前	2								兼3
			病態治療学Ⅴ(小児の疾病、婦人科疾患)	2後	2								兼9
			リハビリテーション学	3前		2							兼1
		保健医療福祉 介護の仕組み	保健福祉行政論	2後	2			1					
			保健医療福祉制度論	4後		1		1					
			公衆衛生学	1後	2			1					
			疫学	3前		2		1					
			保健統計学	2前		2		1					
	小計(17科目)			ー	26	7	0	1	0	0	0	0	兼31
専門教育科目	専門科目	看護基盤学 領域	看護学原論	1前	2			2	1				
			看護理論学	4前	2			1					
			看護過程論	2前	2				1	2	1		
			フィジカルアセスメント	2後	2				1	2	1		
			生活支援技術論	1前	2				1	2	1		
			生活支援技術論演習	1後	2				1	2	1		
			臨床関連技術論演習	2前	2				2	3	1		
			自己開発学	1後		2		1					兼2
			自己開発学演習	2後		2		1					兼2
			自己開発学実習	4後		2		1					兼2
			生活支援論実習	1後	1			6	6	13	5		
			看護過程論実習	2前	2			6	6	13	5		
	小計(12科目)			ー	17	6	0	6	6	13	5		兼2

【令和３年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	キャリア形成		あすなろうⅠ 基礎(初年次教育含)	1通	2			6	7	12	5		兼2
			あすなろうⅡ 応用(地域課題)	2通	2			1	2	4	3		
			あすなろうⅢ 臨地協働	3前	1			2	3	6	1		
	地域連携・学部間連携基礎		生活支援	1前		2				2			兼7
			地域連携	1後		2							兼7
	人間と文化		心理学入門	1前	2								兼1
			現代社会と倫理	1前		2							兼1
			人間論と現代思想	1後		2							兼1
			文学と言語	1前		2							兼1
			生涯学習論	1前		2							兼1
			肥前の歴史と文化(未開講)	1後		2							
			脳と認知科学	1後		2							兼1
			法学	1前		2							兼1
			日本国憲法	1後		2							兼1
	くらしの科学		多文化社会学	1前		2							兼1
			くらしと経済	1前		2							兼1
			ジェンダー論	1後		2							兼1
			生命のしくみ	1前		2							兼1
			生物と環境	1後		2							兼1
			身近な生活の化学	1前		2							兼1
			統計学の基礎	1前		2							兼1
			身近な世界の物理	1前		2							兼1
			地球環境科学	1後		2							兼1
	健康スポーツ		健康運動科学	1前		2							兼1
			フィットネス・スポーツ	1前	1								兼3
			ウェルネス・スポーツ	1後	1								兼3
	国際理解		グローバル化と異文化共生	1前		2							兼1
			文化人類学(未開講)	1後		2							
			変わりゆく国際社会を生きる	1後		2							兼3
			日本事情(Japanese & World Issues)	1前		2							兼6
	外国語による コミュニケーション理解		Basic English Ⅰ	1後	1								兼2
			Basic English Ⅱ	2後	1								兼2
			Global English Ⅰ	1前	1								兼3
			Global English Ⅱ	2前	1								兼3
			Academic English Ⅰ(未開講)	3後		1							
			医療英語	2前	1								兼1
			英語コミュニケーション Ⅰ	1前		1							兼1
			英語コミュニケーション Ⅱ	1後		1							兼1
			Global Communication(English)	1前		2							兼4
			資格英語(ESP)(未開講)	3前		1							兼1
			中国語	1前		1							兼1
			韓国語	1後		1							兼1
			日本語初級(未開講)	3前		1							
			日本語中級	3後		1							兼1
			日本語上級	3後		1							兼1
			語学研修	1前		1							兼1
	ICTの理解		情報処理入門	1前	1								兼1
			情報処理基礎	1後	1								兼1
小計(48科目)				ー	16	60	0	6	7	12	5	0	兼54
専門教育科目	専門基礎科目	いのちの科学	看護形態機能学Ⅰ	1前	2								兼1
			看護形態機能学Ⅱ	1後	2								兼1
			免疫と感染	1後	2								兼1
			臨床薬理学	2前	2								兼1
			病態栄養学	1後	2								兼2
			病理学	1後	2								兼1
			病態治療学Ⅰ(呼吸・循環器)	1後	2								兼5
			病態治療学Ⅱ(消化器・泌尿器)	1後	2								兼7
			態治療学Ⅲ(筋・骨格、感覚器	2前	2								兼1
			病態治療学Ⅳ(神経・難病、精神疾患)	2前	2								兼3
			病態治療学Ⅴ(小児の疾病、婦人科疾患)	2後	2								兼9
			リハビリテーション学	3前		2							兼1
		保健医療福祉 介護の仕組み	保健福祉行政論	2後	2			1					
			保健医療福祉制度論	4後		1		1					
			公衆衛生学	1後	2			1					
			疫学	3前		2		1					
			保健統計学	2前		2		1					
	小計(17科目)			ー	26	7	0	1	0	0	0	0	兼32
専門教育科目	専門科目	看護基盤学 領域	看護学原論	1前	2			2	1				
			看護理論学	4前	2			1					
			看護過程論	2前	2				1	2	1		
			フィジカルアセスメント	2前	2				1	2	1		兼1
			生活支援技術論	1前	2				1	2	1		
			生活支援技術論演習	1後	2				1	2	1		
			臨床関連技術論演習	2前	2				2	3	1		
			自己開発学(未開講)	1後		2		1					兼2
			自己開発学演習(未開講)	2後		2		1					兼2
			自己開発学実習(未開講)	4後		2		1					兼2
			生活支援論実習	1後	1			5	6	13	5		
			看護過程論実習	2前	2			5	6	13	5		
	小計(12科目)			ー	17	6	0	5	6	13	5		兼3

専門教育科目	専門科目	看護実践学領域		成人看護学概論	2前	2			1						
				成人看護学方法論	2後	2			1		1	1			
				成人看護学方法論	3前	2			1	1					
				看護診断論	2前	1					1				
				成人看護学実習Ⅰ	3後	3			2	1	1	1			
				成人看護学実習Ⅱ	3後	3			2	1	1	1			
				老年看護学概論	2前	2			1						
				老年看護学方法論	2後	2			1		2				
				老年看護学実習	3後	4			1		2				
				精神看護学概論	2後	2				1					
				精神看護学方法論	3前	2				1	2				
				精神看護学実習	3後	2				1	2				
				母性看護学概論	2後	2				1					
				母性看護学方法論	3前	2				1	2				
				母性看護学実習	3後	2				1	2				
				小児看護学概論	2後	2			1						
				小児看護学方法論	3前	2			1	1					
				小児看護学実習	3後	2			1	1					
		小計(18科目)			－	39	0	0	4	4	7	1			兼0
		看護統合学領域	看護マネジメント群	在宅看護学概論	2後	2			1						
				在宅看護学方法論	3前	2			1		1	2			
				在宅看護学実習	4前	2			1		1	2			
				関連職種連携論	2後	2			4	1	2				兼6
				関連職種連携演習	3前		2		7	7	13	5			兼6
				関連職種連携実習	4前		2		4	4	7	4			
				家族看護学	2後		2		2		2				
				ターミナルケア論	4後		2		1		1				
				看護倫理学	4前	2			1	1	1				
			看護管理・教育学群	看護教育学	4後		2		1		2				
				看護管理学	4前	2					1				
				看護管理実習	4前		2		2	2	5	1			
			看護探求群	看護研究方法論	3前	2			2	2	2				
				看護研究ゼミナール	4通	2			7	7	13				
				看護シミュレーション演習	4後		2				2	1			
			看護発展群	国際看護学	4後		2								兼1
				災害看護学	4後		2								兼1
				助産学概論	4前		2			1					
				公衆衛生看護学概論	3前		2			1	1				
				健康教育学	3前		2			1	2	1			
				学校保健概論	2前		2			2					
				産業保健概論	4前		2			1	2	1			
				クリティカルケア	4後		2		2		1				
				高度医療と看護	4後		2				1	1			
				補完・代替医療	4後		2								兼2
				認知症ケア	4後		2		1						
		公衆衛生看護学領域		公衆衛生看護活動論(集団・組織支援)	3前		2			1	2	1			
				公衆衛生看護方法論Ⅰ(地域診断)	4前		2			1	2	1			
				公衆衛生看護方法論Ⅱ(技術演習)	4前		2			1	2	1			
				公衆衛生看護学管理論	4後		2			1	2	1			
				公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政)	4前		3			1	2	1			
				公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)	4前		1			1	2	1			
				公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)	4前		1			1	2	1			
	小計(33科目)				－	16	49	0	7	7	13	5	0		兼13
合計 (128科目)					－	114	122	0	7	7	13	5	0		兼87

卒業要件及び履修方法

共通教育科目必修16単位、「地域連携・学部間関連連携基礎」「人間と文化」「くらしの科学」「健康スポーツ」「国際理解」の選択科目より4単位以上、「外国語コミュニケーション」の選択科目より2単位以上選択必修。
専門教育科目必修98単位、「看護統合学領域」の選択科目より6単位以上(関連職種連携実習又は看護管理実習いずれかを含むこと)選択必修。合計126単位以上修得すること。

専門教育科目	専門科目	看護実践学領域		成人看護学概論	2前	2			1						
				成人看護学方法論	2後	2			1		1	1			
				成人看護学方法論	3前	2			1	1					
				看護診断論	2後	1					1				
				成人看護学実習Ⅰ	3後	3			2	1	1	1			
				成人看護学実習Ⅱ	3後	3			2	1	1	1			
				老年看護学概論	2前	2			1						
				老年看護学方法論	2後	2			1		1				兼2
				老年看護学実習	3後	4			1		1				
				精神看護学概論	2前	2				1					
				精神看護学方法論	3前	2				1	2				
				精神看護学実習	3後	2				1	2				
				母性看護学概論	2後	2				1					
				母性看護学方法論	3前	2				1	1				兼1
				母性看護学実習	3後	2				1	1				
				小児看護学概論	2後	2			1						
				小児看護学方法論	3前	2				1					
				小児看護学実習	3後	2				1					
		小計(18科目)			－	39	0	0	4	4	6	1			兼3
		看護統合学領域	看護マネジメント群	在宅看護学概論	2後	2			1						
				在宅看護学方法論	3前	2			1		1	2			
				在宅看護学実習	4前	2			1		1	2			
				関連職種連携論	2後	2			4	1	2				兼7
				関連職種連携演習	3前		2		4	2	7	3			兼6
				関連職種連携実習	4前		2			2	3	1			
				家族看護学	2後		2		2		2				
				ターミナルケア論	4後		2		1		1				
				看護倫理学	4前	2			1	1	1				
			看護管理・教育学群	看護教育学	4後		2		1		2				
				看護管理学	4前	2					1				
				看護管理実習	4前		2			1	4	1			
			看護探求群	看護研究方法論	3前	2			1	2	2				
				看護研究ゼミナール	4通	2			7	7	12				
				看護シミュレーション演習	4後		2				2				
			看護発展群	国際看護学	4後		2								兼1
				災害看護学	4後		2								兼1
				助産学概論	4前		2			1					
				公衆衛生看護学概論	3前		2			1	1				
				健康教育学	3前		2			1	2	1			
				学校保健概論	2前		2			2					
				産業保健概論	4前		2			1	2	1			
				クリティカルケア	4後		2		2		1				
				高度医療と看護	4後		2				1				
				補完・代替医療	4後		2								兼3
				認知症ケア	4後		2		1						
		公衆衛生看護学領域		公衆衛生看護活動論(集団・組織支援)	3前		2			1	2	1			
				公衆衛生看護方法論Ⅰ(地域診断)	4前		2			1	2	1			
				公衆衛生看護方法論Ⅱ(技術演習)	4前		2			1	2	1			
				公衆衛生看護学管理論	4後		2			1	2	1			
				公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政)	4前		3			1	2	1			
				公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)	4前		1			1	2	1			
				公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)	4前		1			1	2	1			
	小計(33科目)				－	16	49	0	7	7	12	5	0		兼16
合計 (128科目)					－	114	122	0	7	7	12	5	0		兼105

卒業要件及び履修方法

共通教育科目必修16単位、「地域連携・学部間関連連携基礎」「人間と文化」「くらしの科学」「健康スポーツ」「国際理解」の選択科目より4単位以上、「外国語コミュニケーション」の選択科目より2単位以上選択必修。
専門教育科目必修98単位、「看護統合学領域」の選択科目より6単位以上(関連職種連携実習又は看護管理実習いずれかを含むこと)選択必修。合計126単位以上修得すること。

【平成３０年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	キャリア形成	あすなろうⅠ 基礎(初年次教育含)	1通	2			7	6	12	5		兼2
		あすなろうⅡ 応用(地域課題)	2通	2			7	6	12	5		
		あすなろうⅢ 臨地協働	3前	1			7	6	12	5		
	地域連携・学部間連携基礎	生活支援	1前		2				2			兼7
		地域連携	1後		2							兼8
	人間と文化	心理学入門	1後	2								兼1
		現代社会と倫理	1前		2							兼1
		人間論と現代思想	1後		2							兼1
		文学と言語	1前		2							兼1
		生涯学習論	1前		2							兼1
		肥前の歴史と文化	1後		2							兼1
		脳と認知科学	1後		2							兼3
		法学	1前		2							兼1
		日本国憲法	1後		2							兼1
	くらしの科学	多文化社会学	1前		2							兼1
		くらしと経済	1前		2							兼1
		ジェンダー論	1後		2							兼1
		生命のしくみ	1前		2							兼1
		生物と環境	1後		2							兼1
		身近な生活の化学	1前		2							兼1
		統計学の基礎	1前		2							兼1
		身近な世界の物理	1前		2							兼1
		地球環境科学	1後		2							兼1
	健康スポーツ	健康運動科学	1前		2							兼1
		フィットネス・スポーツ	1前	1								兼2
		ウェルネス・スポーツ	1後	1								兼2
	国際理解	グローバル化と異文化共生	1前		2							兼1
		文化人類学	1後		2							兼1
		変わりゆく国際社会を生きる	1後		2							兼3
		日本事情(Japanese & World Issues)	1前		2							兼7
	外国語による コミュニケーション理解	Basic English Ⅰ	1後	1								兼1
		Basic English Ⅱ	2後	1								兼1
		Global English Ⅰ	1前	1								兼2
		Global English Ⅱ	2前	1								兼1
		Academic English Ⅰ	3後		1							兼1
		医療英語	2前	1								兼1
		英語コミュニケーション Ⅰ	1前		1							兼2
		英語コミュニケーション Ⅱ	1後		1							兼2
		Global Communication(English)	1前		2							兼2
		資格英語(ESP)	3前		1							兼1
		中国語	1前		1							兼1
		韓国語	1後		1							兼1
		日本語初級	3前		1							兼1
		日本語中級	3後		1							兼1
		日本語上級	3後		1							兼1
		語学研修	1前		1							兼1
	ICTの理解	情報処理入門	1前	1								兼1
		情報処理基礎	1後	1								兼1
小計(48科目)			－	16	60	0	7	7	12	5	0	兼50
専門教育科目 専門基礎科目	いのちの科学	看護形態機能学Ⅰ	1前	2								兼1
		看護形態機能学Ⅱ	1後	2								兼1
		免疫と感染	1後	2								兼1
		臨床薬理学	2前	2								兼1
		病態栄養学	1後	2								兼4
		病理学	1後	2								兼1
		病態治療学Ⅰ(呼吸・循環器)	1後	2								兼1
		病態治療学Ⅱ(消化器・泌尿器)	1後	2								兼7
		態治療学Ⅲ(筋・骨格、感覚器	2前	2								兼1
		病態治療学Ⅳ(神経・難病、精神疾患)	2前	2								兼3
		病態治療学Ⅴ(小児の疾病、婦人科疾患)	2後	2								兼9
		リハビリテーション学	3前		2							兼1
	保健医療福祉 介護の仕組み	保健福祉行政論	2後	2			1					
		保健医療福祉制度	4後		1		1					
		公衆衛生学	1後	2			1					
		疫学	3前		2		1					
		保健統計学	2前		2		1					
	小計(17科目)		－	26	7	0	1	0	0	0	0	兼31
専門教育科目 専門科目	看護基盤学 領域	看護学原論	1前	2			2	1				
		看護理論学	4前	2			1					
		看護過程論	2前	2				1	2	1		
		フィジカルアセスメント	2後	2				1	2	1		
		生活支援技術論	1前	2				1	2	1		
		生活支援技術論演習	1後	2				1	2	1		
		臨床関連技術論演習	2前	2				2	3	1		
		自己開発学	1後		2		1					兼2
		自己開発学演習	2後		2		1					兼2
		自己開発学実習	4後		2		1					兼2
		生活支援論実習	1後	1			6	6	12	5		
		看護過程論実習	2前	2			6	6	12	5		
	小計(12科目)		－	17	6	0	6	6	12	5		兼2
	看護実践学 領域	成人看護学概論	2前	2			1					
		成人看護学方法論	2後	2			1		1	1		
		成人看護学方法論	3前	2			1	1				
		看護診断論	2前	1					1			
		成人看護学実習Ⅰ	3後	3			2	1	1	1		
		成人看護学実習Ⅱ	3後	3			2	1	1	1		
		老年看護学概論	2前	2			1					
		老年看護学方法論	2後	2			1		2			
		老年看護学実習	3後	4			1		2			
		精神看護学概論	2後	2				1				
		精神看護学方法論	3前	2				1	1			
		精神看護学実習	3後	2				1	1			
		母性看護学概論	2後	2				1				
		母性看護学方法論	3前	2				1	2			
		母性看護学実習	3後	2				1	2			
		小児看護学概論	2後	2			1					
		小児看護学方法論	3前	2			1	1				
		小児看護学実習	3後	2			1	1				
	小計(18科目)		－	39	0	0	4	4	6	1		兼0

【令和元年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	キャリア形成	あすなろうⅠ 基礎(初年次教育含)	1通	2			7	4	9	3		兼2
		あすなろうⅡ 応用(地域課題)	2通	2			5	3	9	5		
		あすなろうⅢ 臨地協働	3前	1			7	6	12	5		
	地域連携・学部間連携基礎	生活支援	1前		2				2			兼7
		地域連携	1後		2							兼8
	人間と文化	心理学入門	1前	2								兼1
		現代社会と倫理	1前		2							兼1
		人間論と現代思想	1後		2							兼1
		文学と言語	1前		2							兼1
		生涯学習論	1前		2							兼1
		肥前の歴史と文化	1後		2							兼1
		脳と認知科学	1後		2							兼3
		法学	1前		2							兼1
		日本国憲法	1後		2							兼1
	くらしの科学	多文化社会学	1前		2							兼1
		くらしと経済	1前		2							兼1
		ジェンダー論	1後		2							兼1
		生命のしくみ	1前		2							兼1
		生物と環境	1後		2							兼1
		身近な生活の化学	1前		2							兼1
		統計学の基礎	1前		2							兼1
		身近な世界の物理	1前		2							兼1
		地球環境科学	1後		2							兼1
	健康スポーツ	健康運動科学	1前		2							兼1
		フィットネス・スポーツ	1前	1								兼2
		ウェルネス・スポーツ	1後	1								兼2
	国際理解	グローバル化と異文化共生	1前		2							兼1
		文化人類学	1後		2							兼1
		変わりゆく国際社会を生きる	1後		2							兼4
		日本事情(Japanese & World Issues)	1前		2							兼7
	外国語による コミュニケーション理解	Basic English Ⅰ	1後	1								兼1
		Basic English Ⅱ	2後	1								兼1
		Global English Ⅰ	1前	1								兼2
		Global English Ⅱ	2前	1								兼2
		Academic English Ⅰ	3後		1							兼1
		医療英語	2前	1								兼1
		英語コミュニケーション Ⅰ	1前		1							兼2
		英語コミュニケーション Ⅱ	1後		1							兼2
		Global Communication(English)	1前		2							兼2
		資格英語(ESP)	3前		1							兼1
		中国語	1前		1							兼1
		韓国語	1後		1							兼1
		日本語初級	3前		1							兼1
		日本語中級	3後		1							兼1
		日本語上級	3後		1							兼1
		語学研修	1前		1							兼1
	ICTの理解	情報処理入門	1前	1								兼1
		情報処理基礎	1後	1								兼1
小計(48科目)			－	16	60	0	7	7	12	5	0	兼53
専門教育科目 専門基礎科目	いのちの科学	看護形態機能学Ⅰ	1前	2								兼1
		看護形態機能学Ⅱ	1後	2								兼1
		免疫と感染	1後	2								兼1
		臨床薬理学	2前	2								兼1
		病態栄養学	1後	2								兼4
		病理学	1後	2								兼1
		病態治療学Ⅰ(呼吸・循環器)	1後	2								兼1
		病態治療学Ⅱ(消化器・泌尿器)	1後	2								兼7
		態治療学Ⅲ(筋・骨格、感覚器	2前	2								兼1
		病態治療学Ⅳ(神経・難病、精神疾患)	2前	2								兼3
		病態治療学Ⅴ(小児の疾病、婦人科疾患)	2後	2								兼9
		リハビリテーション学	3前		2							兼1
	保健医療福祉 介護の仕組み	保健福祉行政論	2後	2			1					
		保健医療福祉制度	4後		1		1					
		公衆衛生学	1後	2			1					
		疫学	3前		2		1					
		保健統計学	2前		2		1					
	小計(17科目)		－	26	7	0	1	0	0	0	0	兼31
専門教育科目 専門科目	看護基盤学 領域	看護学原論	1前	2			2	1				
		看護理論学	4前	2			1					
		看護過程論	2前	2				1	1	1		
		フィジカルアセスメント	2後	2				1	2	1		
		生活支援技術論	1前	2				1	1	1		
		生活支援技術論演習	1後	2				1	1	1		
		臨床関連技術論演習	2前	2				2	2	1		
		自己開発学(未開講)	1後		2		1					兼2
		自己開発学演習(未開講)	2後		2		1					兼2
		自己開発学実習(未開講)	4後		2		1					兼2
		生活支援論実習	1後	1			6	6	11	5		
		看護過程論実習	2前	2			6	6	11	5		
	小計(12科目)		－	17	6	0	6	6	11	5		兼2
	看護実践学 領域	成人看護学概論	2前	2			1					
		成人看護学方法論	2後	2			1		1	1		
		成人看護学方法論	3前	2			1	1				
		看護診断論	2後	1					1			
		成人看護学実習Ⅰ	3後	3			2	1	1	1		
		成人看護学実習Ⅱ	3後	3			2	1	1	1		
		老年看護学概論	2前	2			1					
		老年看護学方法論	2後	2			1		1			兼1
		老年看護学実習	3後	4			1		1			
		精神看護学概論	2前	2				1				
		精神看護学方法論	3前	2				1	1			
		精神看護学実習	3後	2				1	1			
		母性看護学概論	2後	2				1				
		母性看護学方法論	3前	2				1	2			
		母性看護学実習	3後	2				1	2			
		小児看護学概論	2後	2			1					
		小児看護学方法論	3前	2			1	1				
		小児看護学実習	3後	2			1	1				
	小計(18科目)		－	39	0	0	4	4	5	1		兼1

専門教育科目	専門科目	看護統合学領域	看護マネジメント群	在宅看護学概論	2後	2			1					
				在宅看護学方法論	3前	2			1		1	2		
				在宅看護学実習	4前	2			1		1	2		
				関連職種連携論	2後	2			4	1	2			兼6
				関連職種連携演習	3前		2		7	7	12	5		兼6
				関連職種連携実習	4前		2		4	4	7	4		
				家族看護学	2後		2		2		1			
				ターミナルケア論	4後		2		1		1			
				看護倫理学	4前	2			1	1	1			
			看護管理・教育学群	看護教育学	4後		2		1		2			
				看護管理学	4前	2					1			
				看護管理実習	4前		2		2	2	5	1		
			看護探求群	看護研究方法論	3前	2			2	2	1			
				看護研究ゼミナール	4通	2			7	7	12			
				看護シミュレーション演習	4後		2				2	1		
			看護発展群	国際看護学	4後		2							兼1
				災害看護学	4後		2							兼1
				助産学概論	4前		2			1				
				公衆衛生看護学概論	3前		2			1	1			
				健康教育学	3前		2			1	2	1		
				学校保健概論	2前		2			2				
				産業保健概論	4前		2			1	2	1		
				クリティカルケア	4後		2		2		1			
				高度医療と看護	4後		2				1	1		
				補完・代替医療	4後		2							兼2
				認知症ケア	4後		2		1					
		公衆衛生看護学領域		公衆衛生看護活動論(集団・組織支援)	3前		2			1	2	1		
				公衆衛生看護方法論Ⅰ(地域診断)	4前		2			1	2	1		
				公衆衛生看護方法論Ⅱ(技術演習)	4前		2			1	2	1		
				公衆衛生看護学管理論	4後		2			1	2	1		
				公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政)	4前		3			1	2	1		
				公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)	4前		1			1	2	1		
				公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)	4前		1			1	2	1		
	小計(33科目)				―	16	49	0	7	7	12	5	0	兼13
合計 (128科目)					―	114	122	0	7	7	12	5	0	兼91

卒業要件及び履修方法

共通教育科目必修16単位、「地域連携・学部間関連連携基礎」「人間と文化」「くらしの科学」「健康スポーツ」「国際理解」の選択科目より4単位以上、「外国語コミュニケーション」の選択科目より2単位以上選択必修。
専門教育科目必修98単位、「看護統合学領域」の選択科目より6単位以上(関連職種連携実習又は看護管理実習いずれかを含むこと)選択必修。合計126単位以上修得すること。

専門教育科目	専門科目	看護統合学領域	看護マネジメント群	在宅看護学概論	2後	2			1					
				在宅看護学方法論	3前	2			1		1	2		
				在宅看護学実習	4前	2			1		1	2		
				関連職種連携論	2後	2			4	1	1			兼7
				関連職種連携演習	3前		2		7	7	11	5		兼6
				関連職種連携実習	4前		2		4	4	6	4		
				家族看護学	2後		2		2		2			
				ターミナルケア論	4後		2		1		1			
				看護倫理学	4前	2			1	1	1			
			看護管理・教育学群	看護教育学	4後		2		1		2			
				看護管理学	4前	2					1			
				看護管理実習	4前		2		2	2	5	1		
			看護探求群	看護研究方法論	3前	2			2	2	1			
				看護研究ゼミナール	4通	2			7	7	11			
				看護シミュレーション演習	4後		2				2	1		
			看護発展群	国際看護学	4後		2							兼1
				災害看護学	4後		2							兼1
				助産学概論	4前		2			1				
				公衆衛生看護学概論	3前		2			1	1			
				健康教育学	3前		2			1	2	1		
				学校保健概論	2前		2			2				
				産業保健概論	4前		2			1	2	1		
				クリティカルケア	4後		2		2		1			
				高度医療と看護	4後		2				1	1		
				補完・代替医療	4後		2							兼2
				認知症ケア	4後		2		1					
		公衆衛生看護学領域		公衆衛生看護活動論(集団・組織支援)	3前		2			1	2	1		
				公衆衛生看護方法論Ⅰ(地域診断)	4前		2			1	2	1		
				公衆衛生看護方法論Ⅱ(技術演習)	4前		2			1	2	1		
				公衆衛生看護学管理論	4後		2			1	2	1		
				公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政)	4前		3			1	2	1		
				公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)	4前		1			1	2	1		
				公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)	4前		1			1	2	1		
	小計(33科目)				―	16	49	0	7	7	11	5	0	兼13
合計 (128科目)					―	114	122	0	7	7	11	5	0	兼94

卒業要件及び履修方法

共通教育科目必修16単位、「地域連携・学部間関連連携基礎」「人間と文化」「くらしの科学」「健康スポーツ」「国際理解」の選択科目より4単位以上、「外国語コミュニケーション」の選択科目より2単位以上選択必修。
専門教育科目必修98単位、「看護統合学領域」の選択科目より6単位以上(関連職種連携実習又は看護管理実習いずれかを含むこと)選択必修。合計126単位以上修得すること。

【令和２年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	キャリア形成		あすなろう Ⅰ 基礎(初年次教育含)	1通	2			7	3	7	2		兼2
			あすなろう Ⅱ 応用(地域課題)	2通	2			2	3	10	5		
			あすなろう Ⅲ 臨地協働	3前	1			2	3	5	1		
	地域連携・学部間連携基礎		生活支援	1前		2				2			兼7
			地域連携	1後		2							兼8
	人間と文化		心理学入門	1前	2								兼1
			現代社会と倫理	1前		2							兼1
			人間論と現代思想	1後		2							兼1
			文学と言語	1前		2							兼1
			生涯学習論	1前		2							兼1
			肥前の歴史と文化	1後		2							兼1
			脳と認知科学	1後		2							兼2
			法学	1前		2							兼1
			日本国憲法	1後		2							兼1
	くらしの科学		多文化社会学	1前		2							兼1
			くらしと経済	1前		2							兼1
			ジェンダー論	1後		2							兼1
			生命のしくみ	1前		2							兼1
			生物と環境	1後		2							兼1
			身近な生活の化学	1前		2							兼1
			統計学の基礎	1前		2							兼1
			身近な世界の物理	1前		2							兼1
			地球環境科学	1後		2							兼1
	健康スポーツ		健康運動科学	1前		2							兼1
			フィットネス・スポーツ	1前	1								兼3
			ウェルネス・スポーツ	1後	1								兼3
	国際理解		グローバル化と異文化共生	1前		2							兼1
			文化人類学	1後		2							兼1
			変わりゆく国際社会を生きる	1後		2							兼3
			日本事情(Japanese & World Issues)	1前		2							兼6
	外国語による コミュニケーション理解		Basic English Ⅰ	1後	1								兼2
			Basic English Ⅱ	2後	1								兼2
			Global English Ⅰ	1前	1								兼3
			Global English Ⅱ	2前	1								兼3
			Academic English Ⅰ	3後		1							兼1
			医療英語	2前	1								兼1
			英語コミュニケーション Ⅰ	1前		1							兼1
			英語コミュニケーション Ⅱ	1後		1							兼1
			Global Communication(English)	1前		2							兼4
			資格英語(ESP)(未開講)	3前		1							兼1
			中国語	1前		1							兼1
			韓国語	1後		1							兼1
			日本語初級	3前		1							兼1
			日本語中級	3後		1							兼1
			日本語上級	3後		1							兼1
			語学研修	1前		1							兼1
	ICTの理解		情報処理入門	1前	1								兼1
			情報処理基礎	1後	1								兼2
小計(48科目)				－	16	60	0	7	6	13	5	0	兼61
専門教育科目	専門基礎科目	いのちの科学	看護形態機能学Ⅰ	1前	2								兼1
			看護形態機能学Ⅱ	1後	2								兼1
			免疫と感染	1後	2								兼1
			臨床薬理学	2前	2								兼1
			病態栄養学	1後	2								兼4
			病理学	1後	2								兼1
			病態治療学Ⅰ(呼吸・循環器)	1後	2								兼1
			病態治療学Ⅱ(消化器・泌尿器)	1後	2								兼7
			態治療学Ⅲ(筋・骨格、感覚器	2前	2								兼1
			病態治療学Ⅳ(神経・難病、精神疾患)	2前	2								兼3
			病態治療学Ⅴ(小児の疾病、婦人科疾患)	2後	2								兼9
			リハビリテーション学	3前		2							兼1
		保健医療福祉 介護の仕組み	保健福祉行政論	2後	2			1					
			保健医療福祉制度	4後		1		1					
			公衆衛生学	1後	2			1					
			疫学	3前		2		1					
			保健統計学	2前		2		1					
	小計(17科目)			－	26	7	0	1	0	0	0	0	兼30
	専門科目	看護基盤学 領域	看護学原論	1前	2			2	1				
			看護理論学	4前	2			1					
			看護過程論	2前	2				1	2	1		
			フィジカルアセスメント	2前	2				1	2	1		兼1
			生活支援技術論	1前	2				1	2	1		
			生活支援技術論演習	1後	2				1	2	1		
			臨床関連技術論演習	2前	2				2	3	1		
			自己開発学(未開講)	1後		2		1					兼2
			自己開発学演習(未開講)	2後		2		1					兼2
			自己開発学実習	4後		2		1					兼2
			生活支援論実習	1後	1			6	6	13	5		
			看護過程論実習	2前	2			6	6	13	5		
		小計(12科目)		－	17	6	0	6	6	13	5		兼3
		看護実践学 領域	成人看護学概論	2前	2			1					
			成人看護学方法論	2後	2			1		1	1		
			成人看護学方法論	3前	2			1	1				
			看護診断論	2後	1					1			
			成人看護学実習Ⅰ	3後	3			2	1	1	1		
			成人看護学実習Ⅱ	3後	3			2	1	1	1		
			老年看護学概論	2前	2			1					
			老年看護学方法論	2後	2			1		1			兼1
			老年看護学実習	3後	4			1		1			
			精神看護学概論	2前	2				1				
			精神看護学方法論	3前	2				1	2			
			精神看護学実習	3後	2				1	2			
			母性看護学概論	2後	2				1				
			母性看護学方法論	3前	2				1	2			兼1
			母性看護学実習	3後	2				1	2			
			小児看護学概論	2後	2			1					
			小児看護学方法論	3前	2			1	1				
			小児看護学実習	3後	2			1	1				
		小計(18科目)		－	39	0	0	4	4	6	1		兼2

専門教育科目	専門科目	看護統合学領域	看護マネジメント群	在宅看護学概論	2後	2			1						
				在宅看護学方法論	3前	2			1		1	2			
				在宅看護学実習	4前	2			1		1	2			
				関連職種連携論	2後	2			4	1	2				**兼7**
				関連職種連携演習	3前		2		**5**	**2**	**4**	**3**			兼6
				関連職種連携実習	4前		2		4	4	7	4			
				家族看護学	2後		2		2		2				
				ターミナルケア論	4後		2		1		1				
				看護倫理学	4前	2			1	1	1				
			看護管理・教育学群	看護教育学	4後		2		1		2				
				看護管理学	4前	2					1				
				看護管理実習	4前		2		2	2	5	1			
			看護探求群	看護研究方法論	3前	2			2	2	2				
				看護研究ゼミナール	4通	2			7	7	13				
				看護シミュレーション演習	4後		2				2	1			
			看護発展群	国際看護学	4後		2								兼1
				災害看護学	4後		2								兼1
				助産学概論	4前		2			1					
				公衆衛生看護学概論	3前		2			1	1				
				健康教育学	3前		2			1	2	1			
				学校保健概論	2前		2			2					
				産業保健概論	4前		2			1	2	1			
				クリティカルケア	4後		2		2		1				
				高度医療と看護	4後		2				1	1			
				補完・代替医療	4後		2								兼2
				認知症ケア	4後		2		1						
		公衆衛生看護学領域		公衆衛生看護活動論(集団・組織支援)	3前		2			1	2	1			
				公衆衛生看護方法論Ⅰ(地域診断)	4前		2			1	2	1			
				公衆衛生看護方法論Ⅱ(技術演習)	4前		2			1	2	1			
				公衆衛生看護学管理論	4後		2			1	2	1			
				公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政)	4前		3			1	2	1			
				公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)	4前		1			1	2	1			
				公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)	4前		1			1	2	1			
	小計(33科目)				－	16	49	0	7	7	13	5	0	兼14
合計（128科目）					－	114	122	0	7	7	13	5	0	兼102

卒業要件及び履修方法

共通教育科目必修16単位、「地域連携・学部間関連連携基礎」「人間と文化」「くらしの科学」「健康スポーツ」「国際理解」の選択科目より4単位以上、「外国語コミュニケーション」の選択科目より2単位以上選択必修。
専門教育科目必修98単位、「看護統合学領域」の選択科目より6単位以上（関連職種連携実習又は看護管理実習いずれかを含むこと）選択必修。合計126単位以上修得すること。

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）－②授業科目表に関する変更内容

【平成３０年度】

・教育的効果を考慮し、「あすなろうⅠ基礎（初年次教育含）」に学長講座及び社会人基礎力講座を学長及び兼任講師に担当いただくため、兼任・兼担に「兼2」を追記。
・准教授1名が本学にて平成30年より新設した「教職センター」の業務となったため、業務軽減のため「あすなろうⅠ基礎（初年次教育含）」、「あすなろうⅡ応用（地域課題）」、「あすなろうⅢ臨地協働」の教員配置を「准教授7」から「准教授6」に変更。
・平成31年度着任予定講師1名の就任辞退の申し出があったため、「あすなろうⅠ基礎（初年次教育含）」、「あすなろうⅡ応用（地域課題）」、「あすなろうⅢ臨地協働」、「生活支援論実習」、「看護課程論実習」「精神看護学方法論」、「精神看護学実習」、「関連職種連携論演習」、「家族看護学」「看護研究方法論」、「看護研究ゼミナール」の講師数を1名減とした。後任者については公募を行う予定である。
・兼担教員の逝去のため、「変わりゆく国際社会を生きる」の教員は位置を「兼4」より「兼3」へ変更。
・兼任教員との本務先勤務時間との調整が付かなかったため、「Global EnglishⅠ」の兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・全学部共通で開講し、希望者数が多いため、「英語コニュニケーションⅠ」及び「英語コミュニケーションⅡ」の教員配置を「兼1」から「兼2」へ変更。
・留学生との交流等の演習を授業内容に多く含むため教育的効果を考慮し、「Global Communication(English）」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・全学部で開講期の見直しを行い、「中国語」を「1後」から「1前」に、「韓国語」を「1前」から「1後」に変更。
・教育的効果を考慮し、「情報処理入門」、「情報処理基礎」の教員配置を「兼2」から「兼1」とした。

【令和元年度】

・教育的効果を考慮したゼミ数の配置により、「あすなろうⅠ基礎（初年次教育含）」の教員配置を准教授は「6」から「4」、講師は「12」から「9」、助教は「5」から「3」に変更。
・教育的効果を考慮したゼミ数の配置により、「あすなろうⅡ（地域課題）」の教員配置を教授は「7」から「5」准教授は「6」から「3」、講師は「12」から「9」に変更。
・前後期の開講科目数の割合を見直し、学生の時間割負担を軽減するため「心理学入門」を「1後」から「1前」に変更。
・時間割編成の都合上「Global EnglishⅡ」の教員を「兼1」から「兼2」へ変更。
・専任教員の退職のため「看護過程論」、「生活支援技術論」、「生活支援技術論演習」、「臨床関連技術論演習」、「生活支援論実習」、「看護過程論実習」、「関連職種連携論」、「関連職種連携演習」、「関連職種連携実習」「看護研究ゼミナール」の講師数を1名減とした。後任者については募集を行う予定であるが、「看護過程論」、「生活支援技術論」「生活支援技術論演習」、「臨床関連技術論演習」「関連職種連携論」については現在着任をしている専任教員の科目追加として専任教員資格審査を申請中である。
・平成31年度就任予定講師1名の就任辞退に伴い、専任教員を補充し専任教員資格審査を申請したが、「老年看護学方法論」及び「老年看護学実習」の判定が「不可」であったため、講師数を「2」から「1」へ変更。今後募集を行い補充する予定である。
・森田夏代講師の就任時期が10月からとなり、また教育的効果を考慮し、「看護診断論」を「2前」より「2後」へ変更。
・前後期の開講科目数の割合を見直し、学生の時間割負担を軽減するため「精神看護学概論」を「2後」から「2前」に変更。
・教育的効果を考慮し、「関連職種連携論」に兼担講師を追加したため「兼6」から「兼7」へ変更。
・専任講師1名の辞退により、専任教員の補充まで兼任講師を補充し対応するため、兼任。兼担に「兼1」を追加

【令和２年度】

・教育的効果を考慮したゼミ数の配置により、「あすなろうⅠ基礎（初年次教育含）」の教員配置を准教授は「7」から「3」、講師は「13」から「7」、助教は「5」から「2」に変更。
・教育的効果を考慮した教員数の配置にするため、「あすなろうⅡ（地域課題）」の教員配置を教授は「7」から「2」准教授は「7」から「3」、講師は「13」から「10」に変更。
・教育的効果を考慮した教員数の配置にするため、「あすなろうⅢ臨地協働」の教員配置を教授は「7」から「2」准教授は「7」から「3」、講師は「13」から「5」、助教は「5」から「1」に変更。
・兼担助教の退職により「脳と認知科学」の兼任・兼担を「兼3」から「兼2」に変更。
・教育的効果を考慮し、「フィットネス・スポーツ」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
・教育的効果を考慮し、「ウェルネス・スポーツ」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
・兼担准教授の人事異動により「変わりゆく国際社会を生きる」の兼任・兼担を「兼4」より「兼3」に変更。
・兼任講師の辞退のため、「日本事情（Japanese & World Issues)」の兼任・兼担を【「兼7」から「兼6」に変更。
・教育的効果を考慮し、「Global EnglishⅠ」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
・教育的効果を考慮し、「Global EnglishⅡ」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
・教育的効果を考慮し、「Basic EnglishⅠ」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
・教育的効果を考慮し、「Basic EnglishⅡ」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
・教育的効果を考慮し、「Global Communication（English）」の兼任・兼担を「兼1」から「兼5」に変更。
・兼担教授の退職により「病態栄養学」の兼任・兼担を「兼4」より「兼3」に変更。後任は兼担教員を募集中である。
・教育的効果を考慮し、「フィジカルアセスメント」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
・教育的効果を考慮し、「フィジカルアセスメント」の兼任・兼担に「兼1」を追加。
・教育的効果を考慮し、「母性看護学方法論」の兼任・兼担に「兼1」を追加。
・・教育的効果を考慮した教員数の配置にするため、「関連職種連携演習」の教員配置を教授は「7」から「5」准教授は「7」から「2」、講師は「13」から「4」、助教を「5」から「3」に変更。

【令和３年度】

・教育的効果を考慮したゼミ数の配置により、「あすなろうⅠ基礎（初年次教育含）」の教員配置を教授は「7」から「6」、准教授は「3」から「7」、講師は「7」から「12」、助教は「2」から「5」に変更。
・教育的効果を考慮した教員数の配置にするため、「あすなろうⅡ（地域課題）」の教員配置を教授は「2」から「1」准教授は「3」から「2」、講師は「10」から「4」、助教は「5」から「3」に変更。
・教育的効果を考慮した教員数の配置にするため、「地域連携」の兼担・兼任を「兼8」から「兼7」に変更。
・他学部の人事により「脳と認知科学」の兼担・兼任を「兼2」から「兼1」に変更。
・教育的効果を考慮した教員数の配置にするため、「情報処理基礎」の兼担・兼任を「兼2」から「兼1」に変更。
・教育的効果を考慮した教員数の配置にするため、「病態栄養学」の兼担・兼任を「兼4」から「兼2」に変更。
・兼担教授の担当時間数の一部辞退により、「病態治療学Ⅰ（呼吸・循環器）」の兼担・兼任を「兼1」から「兼5」に変更。
・専任教授の一身上の理由による担当辞退のため「生活支援論実習」の教授「6」に変更。
・専任教授の一身上の理由による担当辞退のため「看護過程論実習」の教授「1」に変更。
・専任教授の一身上の理由による担当辞退のため「小児看護学方法論」の教授「1」を削除。
・専任教授の一身上の理由による担当辞退のため「小児看護学実習」の教授「1」を削除。
・教育的効果を考慮した教員数の配置にするため、「看護シミュレーション演習」の助教「1」を削除。
・教育的効果を考慮した教員数の配置にするため、「高度医療と看護」の助教「1」を削除。
・兼任講師の担当辞退のため「補完・代替医療」の担当教員を別の教員に依頼し、兼担・兼任を「兼2」から「兼3」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
61 科目	67 科目	0 科目	128 科目	61 科目 [0]	67 科目 [0]	0 科目 [0]	128 科目 [0]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	肥前の歴史と文化	2	1	一般	選択	例年、履修希望者が少ないため、未開講とした。代替はないが、選択科目のため、他の共通教育科目（選択科目）で補うことができる。（R3）
2	文化人類学	2	1	一般	選択	例年、履修希望者が少ないため、未開講とした。代替はないが、選択科目のため、他の共通教育科目（選択科目）で補うことができる。（R3）
3	Academic English I	1	3	一般	選択	例年、履修希望者が少ないため、未開講とした。代替はないが、選択科目のため、他の共通教育科目（選択科目）で補うことができる。（R3）
4	日本語初級	1	3	一般	選択	留学生対象科目であるが、留学生がいないため。（R3）

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{4}{128} = 3.12\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
（1）校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地のうち、小城市より土地借用：借用面積：3,971.07㎡、借用期間：30年 運動用地：小城→神埼キャンパスまでスクールバス利用にて約35分、約16.2km
	校舎敷地	39,900.44㎡	1,300.53㎡	11,951.11㎡	53,152.08㎡	
	運動場用地	18,813.00㎡	8,263.78㎡	0㎡	27,076.78㎡	
	小　　計	58,713.44㎡	9,564.31㎡	11,951.11㎡	80,228.86㎡	
	そ の 他	61,668.22㎡	3,834.07㎡	0㎡	65,502.29㎡	
	合　　計	120,381.66㎡	13,398.38㎡	11,951.11㎡	145,731.15㎡	
（2）校　　舎		専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	西九州大学短期大学部と共用
		31,822.14 （ 31,822.14㎡）	1,300.53㎡ （ 1,300.53㎡）	12,137.84㎡ （ 12,137.84㎡）	45,260.51㎡ （ 45,260.51㎡）	

（3）教　室　等	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	申請学部全体
	8室	11室	9室	1室 （補助職員　0 ~~1~~人）	0室 （補助職員　0人）	情報関係専任職員を採用したため（2）

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数	申請学部全体
	看護学部　看護学科	29　　室	

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図　書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標　本 点	申請学部全体
	看護学部	5,808〔703〕 (12,099〔907〕) ~~(7,846〔724〕)~~ ~~(5,808〔703〕)~~	42〔6〕 (42〔6〕) ~~(37〔6〕)~~ ~~(42〔6〕)~~	2〔0〕 (2〔0〕)	198 (267) ~~(253)~~ ~~(198)~~	18,370 (15,681) ~~(10,344)~~	87 (87)	視聴覚資料については令和2年の報告件数に誤りがあった（正しくは253点）ため修正、その他は学年進行に伴う増加（3）
	計	5,808〔703〕 (12,099〔907〕) ~~(7,846〔724〕)~~ ~~(5,808〔703〕)~~	42〔6〕 (42〔6〕) ~~(37〔6〕)~~ ~~(42〔6〕)~~	2〔0〕 (2〔0〕)	198 (267) ~~(304)~~ ~~(198)~~	18,370 (15,681) ~~(10,344)~~	87 (87)	

（6）図　書　館	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	大学全体
	1,923.00㎡	303席	220,000冊	

（7）体　育　館	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体
	3,267㎡	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ 242㎡	テニスコート 2面	弓道場 89㎡	―	

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度	申請学部全体 H29.11.2文部科学省私学部私学行政課法人係/神藤様へ事務相談の上、セキュリティ設備は完成年度までに申請額全額を投資することで延期のご了承を得ております。（元）
		教員１人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	31,900千円	2,000千円	2,000千円	
		共　同　研　究　費　等	1,500千円	1,500千円	設備購入費	416,578千円	5,000千円 ~~7,665千円~~	5,626千円 ~~14,207千円~~	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	R3.3.12文部科学省私学部私学行政課法人係/齋藤様へ改めての事務相談を行い、セキュリティ設備の変更申請についてご了承いただいております。（3）
	1,550千円	1,360千円	1,370千円	1,380千円	― 千円	― 千円	

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、雑収入等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和３年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（３）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	西九州大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
健康栄養学部	4	120	－	480	－	0.83	0.75	－	平成26	－	
健康栄養学科	4	120	－	480	学士（健康栄養学）	0.83	0.75	－	平成26	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
健康福祉学部	4	130	3年次 10人	540	－	0.72	0.66	－	平成13	－	
社会福祉学科	4	80	3年次 10人	340	学士（社会福祉学）	0.58	0.48	－	昭和49	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
スポーツ健康福祉学科	4	50	－	200	学士（ｽﾎﾟｰﾂ健康福祉学）	0.94	0.96	－	平成26	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部	4	80	－	320	－	0.82	0.93	－	平成19	－	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	4	80	－	320	－	0.82	0.93	－	平成19	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
理学療法学専攻	4	40	－	160	学士（理学療法学）	1.00	1.25	－	平成19	同上	
作業療法学専攻	4	40	－	160	学士（作業療法学）	0.64	0.62	－	平成19	同上	
子ども学部	4	120	3年次 10人	500	－	1.15	1.20	－	平成21	－	
子ども学科	4	80	3年次 10人	340	学士（子ども学）	1.15	1.17	－	平成21	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
心理ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ学科	4	40	－	160	学士（臨床心理学）	1.16	1.25	－	平成26	同上	
看護学部	4	90	－	360	－	1.03	1.16	平成30	平成30	－	
看護学科	4	90	－	360	学士（看護学）	1.03	1.16	平成30	平成30	佐賀県佐賀県小城市小城町176-27	
大学全体	4	540	20	2,110	－	0.90	0.92	－	－	－	
大学院											
生活支援科学研究科											
健康栄養学専攻	2	2	－	4	修士（健康栄養学）	0.50	0.50	－	平成26	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
臨床心理学専攻	2	5	－	10	修士（臨床心理学）	1.10	1.00	－	平成26	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻	2	3	－	6	修士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	1.00	1.00	－	平成26	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
子ども学専攻	2	3	－	6	修士（子ども学）	0.33	0.33	－	平成27	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
地域生活支援学専攻（博士前期課程）	2	5	－	10	修士（生活支援学）	0.60	1.00	－	平成27	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
地域生活支援学専攻（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（生活支援学）	1.10	0.66	－	平成27	同上	
大学院全体	－	21	－	45	－	0.91	0.80	－	－	－	

大学の名称	西九州大学短期大学部						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
地域生活支援学科	2	100	－	200	短期大学士（地域生活支援学）	0.77	0.82	－	平成29	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
幼児保育学科	2	90	－	180	短期大学士（保育学）	0.94	0.87	－	昭和40	同上	
大学全体	2	190	－	380	－	0.85	0.84	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

＜看護学部　看護学科＞

（1）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	岡崎　美智子 ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護学原論　※ 看護理論学 自己開発学 自己開発学演習 自己開発学実習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護倫理学　※ 看護教育学 看護管理実習 看護研究ゼミナール
専	教授	白田　久美子 ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護学原論　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 ターミナルケア論　※ 看護研究ゼミナール クリティカルケア　※
専	教授	鹿居　樹八子 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	教授	中島　洋子 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 老年看護学概論 老年看護学方法論　※ 老年看護学実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 家族看護学　※ 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール クリティカルケア　※ 認知症ケア
専	教授	北原　悦子 ＜平成32年4月＞ 修士（経営学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 小児看護学概論 小児看護学方法論 小児看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
兼任	講師	北原　悦子 ＜平成31年10月＞ 修士（経済学）	小児看護学概論
専	教授	正野　逸子 ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学概論 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 家族看護学　※ 看護研究ゼミナール

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	岡崎　美智子 ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護学原論　※ 看護理論学 自己開発学 自己開発学演習 自己開発学実習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護倫理学　※ 看護教育学 看護管理実習 看護研究ゼミナール
専	教授	白田　久美子 ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護学原論　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 ターミナルケア論　※ 看護研究ゼミナール クリティカルケア　※
専	教授	鹿居　樹八子 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	教授	中島　洋子 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 老年看護学概論 老年看護学方法論　※ 老年看護学実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 家族看護学　※ 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール クリティカルケア　※ 認知症ケア
専	教授	北原　悦子 ＜平成32年4月＞ 修士（経営学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 小児看護学概論 小児看護学方法論 小児看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
兼任	講師	北原　悦子 ＜平成31年10月＞ 修士（経済学）	小児看護学概論
専	教授	正野　逸子 ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学概論 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 家族看護学　※ 看護研究ゼミナール

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	岡崎　美智子 ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護学原論　※ 看護理論学 自己開発学 自己開発学演習 自己開発学実習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護倫理学　※ 看護教育学 看護管理実習 看護研究ゼミナール
専	教授	白田　久美子 ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 看護学原論　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 ターミナルケア論　※ 看護研究ゼミナール クリティカルケア　※
専	教授	鹿居　樹八子 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	教授	中島　洋子 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 老年看護学概論 老年看護学方法論　※ 老年看護学実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 家族看護学　※ 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール クリティカルケア　※ 認知症ケア
専	教授	北原　悦子 ＜令和2年4月＞ 修士（経営学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 小児看護学概論 小児看護学方法論 小児看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
兼任	講師	北原　悦子 ＜平成31年10月＞ 修士（経済学）	小児看護学概論
専	教授	正野　逸子 ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学概論 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 家族看護学　※ 看護研究ゼミナール

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	岡崎　美智子 ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 看護学原論　※ 看護理論学 自己開発学 自己開発学演習 自己開発学実習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護倫理学　※ 看護教育学 看護管理実習 看護研究ゼミナール
専	教授	白田　久美子 ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 看護学原論　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携論　※ 関連職種連携実習 ターミナルケア論　※ 看護研究ゼミナール クリティカルケア　※
専	教授	鹿居　樹八子 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	教授	中島　洋子 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 老年看護学概論 老年看護学方法論　※ 老年看護学実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 家族看護学　※ 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール クリティカルケア　※ 認知症ケア
専	教授	北原　悦子 ＜令和2年4月＞ 修士（経営学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） 生活支援論実習 看護過程論実習 小児看護学概論 小児看護学方法論 小児看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
専	教授	正野　逸子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学概論 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 家族看護学　※ 看護研究ゼミナール

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	岡崎　美智子 ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） 看護学原論　※ 看護理論学 自己開発学 自己開発学演習 自己開発学実習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護倫理学　※ 看護教育学 看護研究ゼミナール
専	教授	白田　久美子 ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 看護学原論　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携論　※ ターミナルケア論　※ 看護研究ゼミナール クリティカルケア　※
専	教授	鹿居　樹八子 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 看護研究ゼミナール
専	教授	中島　洋子 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 老年看護学概論 老年看護学方法論　※ 老年看護学実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 家族看護学　※ 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール クリティカルケア　※ 認知症ケア
専	教授	北原　悦子 ＜令和2年4月＞ 修士（経営学）	小児看護学概論 看護研究ゼミナール
専	教授	正野　逸子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学概論 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 家族看護学　※ 看護研究ゼミナール

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	正野　逸子 ＜平成31年10月＞ 博士（医学）	在宅看護学概論
専	教授	黒田　研二 ＜平成32年4月＞ 医学博士	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 保健福祉行政論 保健医療福祉制度論 公衆衛生学 疫学 保健統計学 関連職種連携演習 看護研究ゼミナール
兼任	講師	黒田　研二 ＜平成30年10月＞ 医学博士	保健福祉行政論 公衆衛生学 保健統計学
専	准教授	小林　幸恵 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	准教授	馬塲　才悟 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 フィジカルアセスメント 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護倫理学　※ 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
専	准教授	床島　正志 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 精神看護学概論 精神看護学方法論 精神看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
専	准教授	上野　恭子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 母性看護学概論 母性看護学方法論 母性看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究ゼミナール 助産学概論
専	准教授	藤田　史恵 ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 小児看護学方法論 小児看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	正野　逸子 ＜平成31年10月＞ 博士（医学）	在宅看護学概論
専	教授	黒田　研二 ＜平成32年4月＞ 医学博士	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 保健福祉行政論 保健医療福祉制度論 公衆衛生学 疫学 保健統計学 関連職種連携演習 看護研究ゼミナール
兼任	講師	黒田　研二 ＜平成30年10月＞ 医学博士	保健福祉行政論 公衆衛生学 保健統計学
専	准教授	小林　幸恵 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	准教授	馬塲　才悟 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 フィジカルアセスメント 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護倫理学　※ 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
専	准教授	床島　正志 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 精神看護学概論 精神看護学方法論 精神看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
専	准教授	上野　恭子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 母性看護学概論 母性看護学方法論 母性看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究ゼミナール 助産学概論
専	准教授	藤田　史恵 ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 小児看護学方法論 小児看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	正野　逸子 ＜平成31年10月＞ 博士（医学）	在宅看護学概論
専	教授	黒田　研二 ＜平成32年4月＞ 医学博士	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 保健福祉行政論 保健医療福祉制度論 公衆衛生学 疫学 保健統計学 関連職種連携演習 看護研究ゼミナール
兼任	講師	黒田　研二 ＜平成30年10月＞ 医学博士	保健福祉行政論 公衆衛生学 保健統計学
専	准教授	小林　幸恵 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	准教授	馬塲　才悟 ＜平成31年4月＞ **博士（医学）**	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 フィジカルアセスメント 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護倫理学　※ 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
専	准教授	床島　正志 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 精神看護学概論 精神看護学方法論 精神看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
専	准教授	上野　恭子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 母性看護学概論 母性看護学方法論 母性看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究ゼミナール 助産学概論
専	准教授	藤田　史恵 ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 小児看護学方法論 小児看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	黒田　研二 ＜令和2年4月＞ 医学博士	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） 保健福祉行政論 保健医療福祉制度論 公衆衛生学 疫学 保健統計学 看護研究ゼミナール
専	准教授	小林　幸恵 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅡ 応用（地域課題） 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	准教授	馬塲　才悟 ＜平成31年4月＞ **博士（医学）**	あすなろうⅡ 応用（地域課題） フィジカルアセスメント 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護倫理学　※ 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
専	准教授	床島　正志 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 精神看護学概論 精神看護学方法論 精神看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
専	准教授	上野　恭子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 母性看護学概論 母性看護学方法論 母性看護学実習 看護管理実習 看護研究ゼミナール 助産学概論
専	准教授	藤田　史恵 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 小児看護学方法論 小児看護学実習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	黒田　研二 ＜令和2年4月＞ 医学博士	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） 保健福祉行政論 保健医療福祉制度論 公衆衛生学 疫学 保健統計学 看護研究ゼミナール
専	准教授	小林　幸恵 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 看護研究ゼミナール
専	准教授	馬塲　才悟 ＜平成31年4月＞ **博士（医学）**	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） フィジカルアセスメント 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護倫理学　※ 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
専	准教授	床島　正志 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 精神看護学概論 精神看護学方法論 精神看護学実習 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
専	准教授	上野　恭子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 母性看護学概論 母性看護学方法論 母性看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究ゼミナール 助産学概論
専	准教授	藤田　史恵 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 小児看護学方法論 小児看護学実習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	池田　佐知子 ＜平成30年4月＞ 修士（臨床心理学）※	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護学原論　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール 公衆衛生看護学概論　※ 健康教育学 学校保健概論　※ 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論（集団・組織支援）※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（地域診断） 公衆衛生看護方法論Ⅱ（技術演習） 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）
専	准教授	大家　さとみ ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 関連職種連携演習 看護研究ゼミナール 学校保健概論　※
専	講師	古川　久美子 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 ターミナルケア論　※ 看護管理実習 看護研究ゼミナール
専	講師	前原　宏美 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	講師	森田　夏代 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 フィジカルアセスメント 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅰ 看護診断論 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究ゼミナール 看護シミュレーション演習 クリティカルケア　※ 高度医療と看護
専	講師	吉田　恭子 ＜平成31年4月＞ 修士（健康福祉学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 老年看護学方法論　※ 老年看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護倫理学　※ 看護研究ゼミナール

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	池田　佐知子 ＜平成30年4月＞ 修士（臨床心理学）※	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護学原論　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール 公衆衛生看護学概論　※ 健康教育学 学校保健概論　※ 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論（集団・組織支援）※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（地域診断） 公衆衛生看護方法論Ⅱ（技術演習） 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）
専	准教授	大家　さとみ ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	関連職種連携演習 看護研究ゼミナール 学校保健概論　※
専	講師	古川　久美子 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 ターミナルケア論　※ 看護管理実習 看護研究ゼミナール
専	講師	前原　宏美 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	講師	森田　夏代 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 フィジカルアセスメント 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅰ 看護診断論 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究ゼミナール 看護シミュレーション演習 クリティカルケア　※ 高度医療と看護
専	講師	吉田　恭子 ＜平成31年4月＞ 修士（健康福祉学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 老年看護学方法論　※ 老年看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護倫理学　※ 看護研究ゼミナール

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	池田　佐知子 ＜平成30年4月＞ 修士（臨床心理学）※	あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護学原論　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール 公衆衛生看護学概論　※ 健康教育学 学校保健概論　※ 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論（集団・組織支援）※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（地域診断） 公衆衛生看護方法論Ⅱ（技術演習） 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）
専	准教授	大家　さとみ ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	関連職種連携演習 看護研究ゼミナール 学校保健概論　※
専	講師	古川　久美子 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 ターミナルケア論　※ 看護管理実習 看護研究ゼミナール
専	講師	森田　夏代 ＜令和元年10月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅢ 臨地協働 フィジカルアセスメント 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅰ 看護診断論 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究ゼミナール 看護シミュレーション演習 クリティカルケア　※ 高度医療と看護

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	池田　佐知子 ＜平成30年4月＞ 修士（臨床心理学）※	あすなろうⅡ 応用（地域課題） 看護学原論　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール 公衆衛生看護学概論　※ 健康教育学 学校保健概論　※ 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論（集団・組織支援）※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（地域診断） 公衆衛生看護方法論Ⅱ（技術演習） 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）
専	准教授	大家　さとみ ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	看護研究ゼミナール 学校保健概論　※
専	講師	古川　久美子 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅡ 応用（地域課題） 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 ターミナルケア論　※ 看護管理実習 看護研究ゼミナール
専	講師	石原　尚美 ＜令和2年4月＞ 修士（人間科学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	講師	森田　夏代 ＜令和元年10月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 フィジカルアセスメント 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅰ 看護診断論 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 看護管理実習 看護研究ゼミナール 看護シミュレーション演習 クリティカルケア　※ 高度医療と看護

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	池田　佐知子 ＜平成30年4月＞ 修士（臨床心理学）※	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 看護学原論　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 看護研究ゼミナール 公衆衛生看護学概論　※ 健康教育学 学校保健概論　※ 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論（集団・組織支援）※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（地域診断） 公衆衛生看護方法論Ⅱ（技術演習） 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）
専	准教授	大家　さとみ ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） 看護研究ゼミナール 学校保健概論　※
専	講師	古川　久美子 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅡ 応用（地域課題） 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 ターミナルケア論　※ 看護管理実習 看護研究ゼミナール
専	講師	石原　尚美 ＜令和2年4月＞ 修士（人間科学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携論　※ 看護研究ゼミナール
専	講師	森田　夏代 ＜令和元年10月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 フィジカルアセスメント 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅰ 看護診断論 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 看護管理実習 看護研究ゼミナール 看護シミュレーション演習 クリティカルケア　※ 高度医療と看護

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	葛原　誠太 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援　※ フィジカルアセスメント 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 老年看護学方法論　※ 老年看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	講師	脇崎　裕子 ＜平成33年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 精神看護学方法論 精神看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 家族看護学　※ 看護教育学 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
兼任	講師	脇崎　裕子 ＜平成32年4月＞ 修士（看護学）	精神看護学方法論 精神看護学実習 家族看護学　※ 看護研究方法論　※
専	講師	福浦　善友 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 精神看護学方法論 精神看護学実習 関連職種連携演習 家族看護学　※ 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
専			
専	講師	仲道　由紀 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 母性看護学方法論 母性看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究ゼミナール
専	講師	森本　眞寿代 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 母性看護学方法論 母性看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	講師	上野　幸子 ＜平成31年4月＞ 専門学校卒	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	葛原　誠太 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援　※ フィジカルアセスメント 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 老年看護学方法論　※ 老年看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	講師	脇崎　裕子 ＜平成33年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 精神看護学方法論 精神看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 家族看護学　※ 看護教育学 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
兼任	講師	脇崎　裕子 ＜平成32年4月＞ 修士（看護学）	精神看護学方法論 精神看護学実習 家族看護学　※ 看護研究方法論　※
専	講師	仲道　由紀 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 母性看護学方法論 母性看護学実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護研究ゼミナール
専	講師	森本　眞寿代 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 母性看護学方法論 母性看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	講師	上野　幸子 ＜平成31年4月＞ 専門学校卒	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	葛原　誠太 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援　※ フィジカルアセスメント 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 老年看護学方法論　※ 老年看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	講師	脇崎　裕子 ＜令和3年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 精神看護学方法論 精神看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 家族看護学　※ 看護教育学 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
兼任	講師	脇崎　裕子 ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）	精神看護学方法論 精神看護学実習 家族看護学　※ 看護研究方法論　※
専	講師	**齋藤　嘉宏** **＜令和2年4月＞** **修士（看護学）**	**あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含）** **あすなろうⅡ 応用（地域課題）** **生活支援論実習** **看護過程論実習** **精神看護学方法論** **精神看護学実習** **看護研究方法論　※** **看護研究ゼミナール**
専	講師	仲道　由紀 ＜平成31年4月＞	あすなろうⅡ 応用（地域課題） 生活支援論実習 看護過程論実習 母性看護学方法論 母性看護学実習 看護管理実習 看護研究ゼミナール
専	講師	森本　眞寿代 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅢ 臨地協働 生活支　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 母性看護学方法論 母性看護学実習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	講師	上野　幸子 ＜平成31年4月＞ **修士（生活支援学）**	あすなろうⅡ 応用（地域課題） 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	葛原　誠太 ＜平成30年4月＞ **博士（医学）**	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援　※ フィジカルアセスメント 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 老年看護学方法論　※ 老年看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	講師	脇崎　裕子 ＜令和3年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） 生活支援論実習 看護過程論実習 精神看護学方法論 精神看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 家族看護学　※ 看護教育学 看護研究方法論　※ 看護研究ゼミナール
専	講師	**齋藤　嘉宏** **＜令和2年4月＞** **修士（看護学）**	**あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含）** **あすなろうⅢ 臨地協働** **生活支援論実習** **看護過程論実習** **精神看護学方法論** **精神看護学実習** **関連職種連携演習** **看護研究方法論　※** **看護研究ゼミナール**
専	講師	森本　眞寿代 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 母性看護学方法論 母性看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール
専	講師	上野　幸子 ＜平成31年4月＞ **修士（生活支援学）**	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携演習 看護研究ゼミナール

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	川島　睦子 ＜平成32年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護教育学 看護管理学 看護管理実習 看護研究ゼミナール 看護シミュレーション演習
専	講師	村岡　早苗 ＜平成30年4月＞ 専門学校卒	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール 公衆衛生看護学概論　※ 健康教育学 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論（集団・組織支援）※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（地域診断） 公衆衛生看護方法論Ⅱ（技術演習） 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）
専	講師	南里　玲子 ＜平成31年4月＞ 専門学校卒	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール 健康教育学 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論（集団・組織支援）※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（地域診断） 公衆衛生看護方法論Ⅱ（技術演習） 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）
専	助教	大坪　奈保 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護管理実習
専	助教	大庭　悠希 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 フィジカルアセスメント 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護シミュレーション演習 高度医療と看護
専	助教	藤本　奈緒子 ＜平成31年4月＞ 専門学校卒	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	川島　睦子 ＜平成32年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護教育学 看護管理学 看護管理実習 看護研究ゼミナール 看護シミュレーション演習
専	講師	村岡　早苗 ＜平成30年4月＞ 専門学校卒	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール 公衆衛生看護学概論　※ 健康教育学 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論（集団・組織支援）※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（地域診断） 公衆衛生看護方法論Ⅱ（技術演習） 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）
専	講師	南里　玲子 ＜平成31年4月＞ 専門学校卒	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール 健康教育学 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論（集団・組織支援）※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（地域診断） 公衆衛生看護方法論Ⅱ（技術演習） 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）
専	講師	平原　直子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 家族看護学　※ 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習 看護管理実習 看護倫理学　※ 看護研究ゼミナール
専	助教	大坪　奈保 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護管理実習
専	助教	大庭　悠希 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 フィジカルアセスメント 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護シミュレーション演習 高度医療と看護
専	助教	藤本　奈緒子 ＜平成31年4月＞ 専門学校卒	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	川島　睦子 ＜平成32年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護教育学 看護管理学 看護管理実習 看護研究ゼミナール 看護シミュレーション演習
専	講師	村岡　早苗 ＜平成30年4月＞ 修士（生活支援学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール 公衆衛生看護学概論　※ 健康教育学 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論（集団・組織支援）※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（地域診断） 公衆衛生看護方法論Ⅱ（技術演習） 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）
専	講師	南里　玲子 ＜平成31年4月＞ 専門学校卒	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護研究ゼミナール 健康教育学 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論（集団・組織支援）※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（地域診断） 公衆衛生看護方法論Ⅱ（技術演習） 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）
専	講師	平原　直子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 家族看護学　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護倫理学　※ 看護研究ゼミナール
専	助教	大坪　奈保 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅡ 応用（地域課題） 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 看護管理実習
専	助教	大庭　悠希 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅡ 応用（地域課題） フィジカルアセスメント 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携演習 関連職種連携実習 看護シミュレーション演習 高度医療と看護
専	助教	藤本　奈緒子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	川島　睦子 ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護教育学 看護管理学 看護管理実習 看護研究ゼミナール 看護シミュレーション演習
専	講師	村岡　早苗 ＜平成30年4月＞ 修士（生活支援学）	あすなろうⅡ 応用（地域課題） 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携論　※ 関連職種連携実習 看護研究ゼミナール 公衆衛生看護学概論　※ 健康教育学 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論（集団・組織支援）※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（地域診断） 公衆衛生看護方法論Ⅱ（技術演習） 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）
専	講師	南里　玲子 ＜平成31年4月＞ 専門学校卒	あすなろうⅡ 応用（地域課題） 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護研究ゼミナール 健康教育学 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論（集団・組織支援）※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（地域診断） 公衆衛生看護方法論Ⅱ（技術演習） 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）
専	講師	平原　直子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 家族看護学　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護倫理学　※ 看護研究ゼミナール
専	助教	大坪　奈保 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅡ 応用（地域課題） 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 看護管理実習
専	助教	大庭　悠希 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅡ 応用（地域課題） フィジカルアセスメント 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携実習 看護シミュレーション演習 高度医療と看護
専	助教	藤本　奈緒子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	川島　睦子 ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護教育学 看護管理学 看護管理実習 看護研究ゼミナール 看護シミュレーション演習
専	講師	村岡　早苗 ＜平成30年4月＞ 修士（生活支援学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携論　※ 看護研究ゼミナール 公衆衛生看護学概論　※ 健康教育学 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論（集団・組織支援）※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（地域診断） 公衆衛生看護方法論Ⅱ（技術演習） 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）
専	講師	南里　玲子 ＜平成31年4月＞ 専門学校卒	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 生活支援論実習 看護過程論実習 看護研究ゼミナール 健康教育学 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論（集団・組織支援）※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ（地域診断） 公衆衛生看護方法論Ⅱ（技術演習） 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）
専	講師	平原　直子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 家族看護学　※ 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 看護管理実習 看護倫理学　※ 看護研究ゼミナール
専	助教	大坪　奈保 ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 看護過程論 生活支援技術論 生活支援技術論演習 臨床関連技術論演習 生活支援論実習 看護過程論実習 看護管理実習
専	助教	大庭　悠希 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） フィジカルアセスメント 生活支援論実習 看護過程論実習 成人看護学方法論Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 関連職種連携実習 看護シミュレーション演習 高度医療と看護
専	助教	藤本　奈緒子 ＜平成31年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	宮崎　みゆき ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習
専	助教	南里　真美 ＜平成32年4月＞ 専門学校卒	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 健康教育学 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論(集団・組織支援)※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ(地域診断) 公衆衛生看護方法論Ⅱ(技術演習) 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政) 公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健) 公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)
兼担	学長	福元　裕二 ＜平成30年10月＞ 農学博士	地域連携
兼担	教授	上城　憲司 ＜平成30年4月＞ 博士（保健医療学）	生活支援 地域連携
兼担	教授	長野　恵子 ＜平成30年4月＞ 教育学修士	生活支援
兼担	教授	安田 みどり ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	地域連携 身近な生活の化学
兼担	教授	井本　浩之 ＜平成30年4月＞ 文学修士	生活支援 地域連携 現代社会と倫理 人間論と現代思想 変わりゆく国際社会を生きる
兼担	教授	平川　忠敏 ＜平成30年10月＞ 博士（心理学）	心理学入門
兼担	教授	香川　せつ子 ＜平成30年4月＞ 教育学修士	生涯学習論 ジェンダー論
兼担	教授	小浦　誠吾 ＜平成30年10月＞ 博士（農学）	脳と認知科学
兼担	教授	酒井　出 ＜平成30年4月＞ 博士（学術）	多文化社会学 変わりゆく国際社会を生きる
兼担	教授	田中　豊治 ＜平成30年10月＞ 博士（社会学）	変わりゆく国際社会を生きる
兼担	教授	柳田　晃良 ＜平成30年4月＞ 農学博士	日本事情（Japanese & world Issues）
兼担	教授	古賀　浩二 ＜平成30年4月＞ 博士（情報工学）	情報処理入門 情報処理基礎
兼担	教授	石松　秀 ＜平成30年10月＞ 博士（医学）	病態栄養学　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	宮崎　みゆき ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習
専	助教	南里　真美 ＜平成32年4月＞ 専門学校卒	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 健康教育学 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論(集団・組織支援)※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ(地域診断) 公衆衛生看護方法論Ⅱ(技術演習) 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政) 公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健) 公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)
兼担	学長	福元　裕二 ＜平成30年10月＞ 農学博士	地域連携※ **あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含）※**
兼担	教授	上城　憲司 ＜平成30年4月＞	生活支援※ 地域連携※
兼担	教授	長野　恵子 ＜平成30年4月＞ 教育学修士	生活支援※
兼担	教授	安田 みどり ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	地域連携※ 身近な生活の化学
兼担	教授	井本　浩之 ＜平成30年4月＞ 文学修士	生活支援※ 地域連携※ 現代社会と倫理 人間論と現代思想 変わりゆく国際社会を生きる※
兼担	教授	香川　せつ子 ＜平成30年4月＞ 教育学修士	生涯学習論 ジェンダー論
兼担	教授	小浦　誠吾 ＜平成30年10月＞ 博士（農学）	脳と認知科学※
兼担	教授	田中　豊治 ＜平成30年10月＞ 博士（社会学）	変わりゆく国際社会を生きる※ **多文化社会学**
兼任	**講師**	柳田　晃良 ＜平成30年4月＞ 農学博士	日本事情（Japanese & world Issues）※
兼担	教授	古賀　浩二 ＜平成30年4月＞ 博士（情報工学）	情報処理基礎
兼担	教授	石松　秀 ＜平成30年10月＞ 博士（医学）	病態栄養学　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	宮崎　みゆき ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習
専	助教	南里　真美 ＜平成32年4月＞ 専門学校卒	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） あすなろうⅢ 臨地協働 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 健康教育学 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論(集団・組織支援)※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ(地域診断) 公衆衛生看護方法論Ⅱ(技術演習) 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政) 公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健) 公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)
兼担	学長	福元　裕二 ＜平成30年10月＞ 農学博士	地域連携※ **あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含）※**
兼担	教授	上城　憲司 ＜平成30年4月＞	生活支援※ 地域連携※
兼担	教授	長野　恵子 ＜平成30年4月＞ 教育学修士	生活支援※
兼担	教授	安田 みどり ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	地域連携※ 身近な生活の化学
兼担	教授	井本　浩之 ＜平成30年4月＞ 文学修士	生活支援※ 地域連携※ 現代社会と倫理 人間論と現代思想 変わりゆく国際社会を生きる※
兼任	**講師**	香川　せつ子 ＜平成30年4月＞ 教育学修士	生涯学習論
兼担	教授	小浦　誠吾 ＜平成30年10月＞ 博士（農学）	脳と認知科学※
兼担	教授	田中　豊治 ＜平成30年10月＞ 博士（社会学）	変わりゆく国際社会を生きる※ **多文化社会学**
兼任	**講師**	柳田　晃良 ＜平成30年4月＞ 農学博士	日本事情（Japanese & world Issues）※
兼担	教授	古賀　浩二 ＜平成30年4月＞ 博士（情報工学）	情報処理基礎
兼担	教授	石松　秀 ＜平成30年10月＞ 博士（医学）	病態栄養学　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	宮崎　みゆき ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習
専	助教	南里　真美 ＜令和2年4月＞ **修士（生活支援学）**	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 生活支援論実習 看護過程論実習 関連職種連携演習 関連職種連携実習 健康教育学 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論(集団・組織支援)※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ(地域診断) 公衆衛生看護方法論Ⅱ(技術演習) 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政) 公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健) 公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)
兼担	**学長**	**久木野　憲司** **＜令和2年4月＞** **博士（保健学）**	**あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含）※** **地域連携※**
兼担	教授	上城　憲司 ＜平成30年4月＞	地域連携※
兼担	教授	安田 みどり ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	地域連携※ 身近な生活の化学
兼担	教授	井本　浩之 ＜平成30年4月＞ 文学修士	生活支援※ 地域連携※ 現代社会と倫理 人間論と現代思想 変わりゆく国際社会を生きる※
兼担	**教授**	**上野　景三** **＜令和2年4月＞** **修士（教育学）**	**生涯学習論**
兼担	教授	小浦　誠吾 ＜平成30年10月＞ 博士（農学）	脳と認知科学※ **生活支援※**
兼担	教授	田中　豊治 ＜平成30年10月＞ 博士（社会学）	変わりゆく国際社会を生きる※ **多文化社会学**
兼任	**講師**	柳田　晃良 ＜平成30年4月＞ 農学博士	日本事情（Japanese & world Issues）※
兼担	教授	古賀　浩二 ＜平成30年4月＞ 博士（情報工学）	情報処理基礎

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	宮崎　みゆき ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） 生活支援論実習 看護過程論実習 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 関連職種連携演習
専	助教	南里　真美 ＜令和2年4月＞ **修士（生活支援学）**	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含） あすなろうⅡ 応用（地域課題） 生活支援論実習 看護過程論実習 健康教育学 産業保健概論　※ 公衆衛生看護活動論(集団・組織支援)※ 公衆衛生看護方法論Ⅰ(地域診断) 公衆衛生看護方法論Ⅱ(技術演習) 公衆衛生看護学管理論　※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政) 公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健) 公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)
兼担	**学長**	**久木野　憲司** **＜令和2年4月＞** **博士（保健学）**	**あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含）※**
兼担	教授	安田 みどり ＜平成30年4月＞ 博士（理学）	地域連携※ 身近な生活の化学
兼担	教授	井本　浩之 ＜平成30年4月＞ 文学修士	生活支援※ 地域連携※ 現代社会と倫理 人間論と現代思想 変わりゆく国際社会を生きる※
兼担	**教授**	**上野　景三** **＜令和2年4月＞** **修士（教育学）**	**生涯学習論**
兼担	教授	小浦　誠吾 ＜平成30年10月＞ 博士（農学）	**生活支援※** **地域連携※**
兼担	教授	田中　豊治 ＜平成30年10月＞ 博士（社会学）	変わりゆく国際社会を生きる※ **多文化社会学**
兼任	**講師**	柳田　晃良 ＜平成30年4月＞ 農学博士	日本事情（Japanese & world Issues）※
兼担	教授	古賀　浩二 ＜平成30年4月＞ 博士（情報工学）	**情報処理入門** 情報処理基礎

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	庄野　菜穂子 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅳ（神経・難病、精神疾患）　※
兼担	教授	太田　保之 ＜平成31年4月＞ 医学博士	病態治療学Ⅳ（神経・難病、精神疾患）　※
兼担	教授	坂田　周一 ＜平成31年10月＞ 博士（社会福祉学）	関連職種連携論※
兼担	教授	髙尾　兼利 ＜平成31年10月＞ 文学修士	関連職種連携論※
兼担	教授	池田　久剛 ＜平成31年10月＞ 修士（教育心理学）	関連職種連携論※
兼担	教授	櫻井　琴音 ＜平成32年4月＞ 文学修士	関連職種連携演習
兼担	教授	西村　喜文 ＜平成32年4月＞ 博士（臨床心理学）	関連職種連携演習
兼担	准教授	山田　力也 ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	生活支援 フィットネス・スポーツ
兼担	准教授	田中　麻里 ＜平成30年4月＞ 教育学修士	生活支援
兼担	准教授	利光　恵 ＜平成30年10月＞ 修士（教育心理学）	地域連携
兼担	准教授	近藤　芳昭 ＜平成30年10月＞ 体育学士	ウェルネス・スポーツ
兼担	准教授	渡邉　真理子 ＜平成30年10月＞ 修士（文学）	変わりゆく国際社会を生きる Academic English Ⅰ
兼担	准教授	大田尾　浩 ＜平成32年4月＞ 博士（保健学）	リハビリテーション学
兼担	准教授	江口　賀子 ＜平成32年4月＞ 修士（健康福祉学）	関連職種連携演習
兼担	講師	加藤　稔子 ＜平成30年4月＞ 修士（健康福祉学）	生活支援
兼担	講師	岡部　由紀夫 ＜平成30年4月＞ 修士（健康福祉学）	地域連携
兼担	講師	飯盛（小倉）啓生 ＜平成30年10月＞ 博士（理学）	地域連携 地球環境科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	庄野　菜穂子 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅳ（神経・難病、精神疾患）　※
兼担	教授	太田　保之 ＜平成31年4月＞ 医学博士	病態治療学Ⅳ（神経・難病、精神疾患）　※
兼担	教授	坂田　周一 ＜平成31年10月＞ 博士（社会福祉学）	関連職種連携論※
兼担	教授	髙尾　兼利 ＜平成31年10月＞ 文学修士	関連職種連携論※
兼担	教授	池田　久剛 ＜平成31年10月＞ 修士（教育心理学）	関連職種連携論※
兼担	教授	櫻井　琴音 ＜平成32年4月＞ 文学修士	関連職種連携演習
兼担	教授	西村　喜文 ＜平成32年4月＞ 博士（臨床心理学）	関連職種連携演習
兼担	准教授	山田　力也 ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	生活支援※ フィットネス・スポーツ
兼担	准教授	田中　麻里 ＜平成30年4月＞ 教育学修士	生活支援※
兼担	准教授	利光　恵 ＜平成30年10月＞ 修士（教育心理学）	地域連携※
兼担	准教授	近藤　芳昭 ＜平成30年10月＞ 体育学士	ウェルネス・スポーツ 関連職種連携論※
兼担	准教授	渡邉　真理子 ＜平成30年10月＞ 修士（文学）	変わりゆく国際社会を生きる Academic English Ⅰ
兼担	准教授	大田尾　浩 ＜平成32年4月＞ 博士（保健学）	リハビリテーション学
兼担	准教授	江口　賀子 ＜平成32年4月＞ 修士（健康福祉学）	関連職種連携演習
兼担	講師	加藤　稔子 ＜平成30年4月＞ 修士（健康福祉学）	生活支援※
兼担	講師	岡部　由紀夫 ＜平成30年4月＞ 修士（健康福祉学）	地域連携※
兼担	講師	飯盛（小倉）啓生 ＜平成30年10月＞ 博士（理学）	地域連携※ 地球環境科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	庄野　菜穂子 ＜令和元年4月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅳ（神経・難病、精神疾患）　※
兼担	教授	坂田　周一 ＜令和元年10月＞ 博士（社会福祉学）	関連職種連携論※
兼担	教授	髙尾　兼利 ＜令和元年10月＞ 文学修士	関連職種連携論※
兼担	教授	池田　久剛 ＜令和元年10月＞ 修士（教育心理学）	関連職種連携論※
兼担	教授	櫻井　琴音 ＜平成32年4月＞ 文学修士	関連職種連携演習
兼担	教授	西村　喜文 ＜平成32年4月＞ 博士（臨床心理学）	関連職種連携演習
兼担	教授	山田　力也 ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	生活支援※
兼担	教授	福本　敏雄 ＜平成31年4月＞ 学士（体育学）	フィットネス・スポーツ
兼担	准教授	田中　麻里 ＜平成30年4月＞ 教育学修士	生活支援※
兼担	准教授	利光　恵 ＜平成30年10月＞ 修士（教育心理学）	地域連携※
兼担	准教授	近藤　芳昭 ＜平成30年10月＞ 体育学士	ウェルネス・スポーツ 関連職種連携論※
兼担	准教授	渡邉　真理子 ＜平成30年10月＞ 修士（文学）	変わりゆく国際社会を生きる Academic English Ⅰ
兼担	准教授	大田尾　浩 ＜平成32年4月＞ 博士（保健学）	リハビリテーション学
兼担	准教授	江口　賀子 ＜平成32年4月＞ 修士（健康福祉学）	関連職種連携演習
兼担	講師	加藤　稔子 ＜平成30年4月＞ 修士（健康福祉学）	生活支援※
兼担	講師	岡部　由紀夫 ＜平成30年4月＞ 修士（健康福祉学）	地域連携※
兼担	講師	飯盛（小倉）啓生 ＜平成30年10月＞ 博士（理学）	地域連携※ 地球環境科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	安部　惠代 ＜令和2年10月＞ 博士（医学）	病態栄養学　※
兼担	教授	庄野　菜穂子 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅳ（神経・難病、精神疾患）　※
兼担	教授	坂田　周一 ＜令和元年10月＞ 博士（社会福祉学）	関連職種連携論※
兼担	教授	髙尾　兼利 ＜令和元年10月＞ 文学修士	関連職種連携論※
兼担	教授	池田　久剛 ＜令和元年10月＞ 修士（教育心理学）	関連職種連携論※
兼担	教授	櫻井　琴音 ＜令和2年4月＞ 文学修士	関連職種連携演習
兼担	講師	赤川　力 ＜令和2年4月＞ 博士（人間科学）	関連職種連携演習
兼担	教授	山田　力也 ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	生活支援※
兼担	准教授	西田　明史 ＜令和2年4月＞ 修士（体育学）	フィットネス・スポーツ
兼担	教授	田中　麻里 ＜平成30年4月＞ 教育学修士	生活支援※
兼担	准教授	利光　恵 ＜平成30年10月＞ 修士（教育心理学）	地域連携※
兼担	教授	近藤　芳昭 ＜平成30年10月＞ 体育学士	ウェルネス・スポーツ 関連職種連携論※
兼担	准教授	渡邉　真理子 ＜平成30年10月＞ 修士（文学）	Academic English Ⅰ
兼担	教授	大田尾　浩 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	リハビリテーション学
兼担	講師	橋井　克得 ＜令和2年4月＞ 博士（学術）	関連職種連携演習
兼担	准教授	加藤　稔子 ＜平成30年4月＞ 修士（健康福祉学）	生活支援※
兼担	講師	岡部　由紀夫 ＜平成30年4月＞ 修士（健康福祉学）	地域連携※
兼担	講師	飯盛（小倉）啓生 ＜平成30年10月＞ 博士（理学）	地域連携※ 地球環境科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	安部　惠代 ＜令和2年10月＞ 博士（医学）	病態栄養学　※
兼担	教授	庄野　菜穂子 ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅳ（神経・難病、精神疾患）　※
兼担	教授	坂田　周一 ＜令和元年10月＞ 博士（社会福祉学）	関連職種連携論※
兼担	教授	髙尾　兼利 ＜令和元年10月＞ 文学修士	関連職種連携論※
兼担	教授	池田　久剛 ＜令和元年10月＞ 修士（教育心理学）	関連職種連携論※
兼担	教授	櫻井　琴音 ＜令和2年4月＞ 文学修士	関連職種連携演習
兼担	講師	赤川　力 ＜令和2年4月＞ 博士（人間科学）	関連職種連携演習
兼担	教授	山田　力也 ＜平成30年4月＞ 修士（体育学）	生活支援※ ウェルネス・スポーツ
兼担	教授	田中　麻里 ＜平成30年4月＞ 教育学修士	生活支援※
兼担	准教授	利光　恵 ＜平成30年10月＞ 修士（教育心理学）	地域連携※
兼担	教授	近藤　芳昭 ＜平成30年10月＞ 体育学士	関連職種連携論※ フィットネス・スポーツ
兼担	教授	大田尾　浩 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	リハビリテーション学
兼担	准教授	江口　賀子 ＜令和３年4月＞ 修士（健康福祉学）	関連職種連携演習
兼担	准教授	加藤　稔子 ＜平成30年4月＞ 修士（健康福祉学）	生活支援※
兼担	講師	岡部　由紀夫 ＜平成30年4月＞ 修士（健康福祉学）	地域連携※
兼担	講師	飯盛（小倉）啓生 ＜平成30年10月＞ 博士（理学）	地域連携※ 地球環境科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	甲木　秀典 ＜平成30年4月＞ 修士（心理学）	健康運動科学 関連職種連携演習
兼担	講師	園部　ニコル ＜平成30年4月＞ 修士（応用言語学）	日本事情（Japanese & World Issues） Global Communication（English） 語学研修
兼担	講師	熊川　景子 ＜平成30年4月＞ 修士（健康福祉学）	日本事情（Japanese & World Issues） 病態栄養学　※
兼担	講師	三隅　幸子 ＜平成30年10月＞ 栄養科学修士	病態栄養学　※ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習
兼担	講師	小松　洋平 ＜平成31年10月＞ 修士（作業療法学）	関連職種連携論　※ 関連職種連携演習
兼担	助教	児島　百合子 ＜平成30年4月＞ 修士（健康福祉学）	生活支援
兼担	助教	高元　宗一郎 ＜平成30年4月＞ 修士（理学）	地域連携 情報処理入門 情報処理基礎
兼任	講師	濱田　隆 ＜平成30年4月＞ 学士	文学と言語
兼任	講師	川副　義敦 ＜平成30年10月＞ 修士（文学）	肥前の歴史と文化
兼任	講師	長谷川　隆史 ＜平成30年10月＞ 修士（健康福祉学）	脳と認知科学
兼任	講師	森内　剛史 ＜平成30年10月＞ 博士（医学）	脳と認知科学
兼任	講師	児玉　弘 ＜平成30年4月＞ 修士（法学）	法学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	甲木　秀典 ＜平成30年4月＞ 修士（心理学）	健康運動科学 関連職種連携演習
兼担	講師	園部　ニコル ＜平成30年4月＞ 修士（応用言語学）	日本事情（Japanese & World Issues）※ Global Communication（English） 語学研修
兼担	講師	熊川　景子 ＜平成30年4月＞ 修士（健康福祉学）	日本事情（Japanese & World Issues） 病態栄養学　※
兼担	講師	三隅　幸子 ＜平成30年10月＞ 栄養科学修士	病態栄養学　※ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習
兼担	講師	小松　洋平 ＜平成31年10月＞ 修士（作業療法学）	関連職種連携論　※ 関連職種連携演習
兼担	講師	高元　宗一郎 ＜平成30年4月＞ 修士（理学）	地域連携 情報処理入門
兼担	准教授	福山　隆志 ＜平成30年4月＞ 学士（家政学）	生活支援※
兼担	助教	松尾　崇史 ＜平成30年10月＞ 修士（健康福祉学）	脳と認知科学
兼任	講師	濱田　隆 ＜平成30年4月＞ 学士	文学と言語
兼任	講師	川副　義敦 ＜平成30年10月＞ 修士（文学）	肥前の歴史と文化
兼任	講師	長谷川　隆史 ＜平成30年10月＞ 修士（健康福祉学）	脳と認知科学
兼任	講師	児玉　弘 ＜平成30年4月＞ 修士（法学）	法学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	甲木　秀典 ＜平成30年4月＞ 修士（心理学）	健康運動科学 関連職種連携演習
兼担	講師	園部　ニコル ＜平成30年4月＞ 修士（応用言語学）	日本事情（Japanese & World Issues）※ Global Communication（English） 語学研修
兼担	講師	熊川　景子 ＜平成30年4月＞ 修士（健康福祉学）	日本事情（Japanese & World Issues） 病態栄養学　※
兼担	講師	三隅　幸子 ＜平成30年10月＞ 栄養科学修士	病態栄養学　※ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習
兼担	講師	小松　洋平 ＜平成31年10月＞ 修士（作業療法学）	関連職種連携論　※ 関連職種連携演習
兼担	講師	高元　宗一郎 ＜平成30年4月＞ 修士（理学）	地域連携 情報処理入門 情報処理基礎
兼担	准教授	福山　隆志 ＜平成30年4月＞ 学士（家政学）	生活支援※
兼担	助教	松尾　崇史 ＜平成30年10月＞ 修士（健康福祉学）	脳と認知科学
兼任	講師	濱田　隆 ＜平成30年4月＞ 学士	文学と言語
兼任	講師	川副　義敦 ＜平成30年10月＞ 修士（文学）	肥前の歴史と文化
兼任	講師	長谷川　隆史 ＜平成30年10月＞ 修士（健康福祉学）	脳と認知科学
兼任	講師	児玉　弘 ＜平成30年4月＞ 修士（法学）	法学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	甲木　秀典 ＜平成30年4月＞ 修士（心理学）	関連職種連携演習
兼担	講師	園部　ニコル ＜平成30年4月＞ 修士（応用言語学）	日本事情（Japanese & World Issues）※ Global Communication（English） 語学研修 Global EnglishⅠ Global EnglishⅡ
兼担	講師	熊川　景子 ＜平成30年4月＞ 修士（健康福祉学）	日本事情（Japanese & World Issues） 病態栄養学　※
兼担	講師	三隅　幸子 ＜平成30年10月＞ 栄養科学修士	病態栄養学　※ 関連職種連携論　※ 関連職種連携演習
兼担	准教授	小松　洋平 ＜平成31年10月＞ 修士（作業療法学）	関連職種連携論　※ 関連職種連携演習
兼担	講師	高元　宗一郎 ＜平成30年4月＞ 修士（理学）	情報処理入門 情報処理基礎
兼担	准教授	福山　隆志 ＜平成30年4月＞ 学士（家政学）	生活支援※
兼担	講師	渡瀬　浩介 ＜令和2年4月＞ 学士（体育学）	地域連携※
兼担	講師	植田　啓嗣 ＜令和2年4月＞ 修士（学術）	変わりゆく国際社会を生きる
兼担	講師	山口　裕嗣 ＜令和2年4月＞ 博士（人間環境学）	健康運動科学 フィットネス・スポーツ
兼担	教授	岩根　浩 ＜令和2年4月＞ 修士（学校教育学）	文学と言語
兼任	講師	川副　義敦 ＜平成30年10月＞ 修士（文学）	肥前の歴史と文化
兼任	講師	長谷川　隆史 ＜平成30年10月＞ 修士（健康福祉学）	脳と認知科学
兼任	講師	児玉　弘 ＜平成30年4月＞ 修士（法学）	法学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	甲木　秀典 ＜平成30年4月＞ 修士（心理学）	関連職種連携演習
兼担	講師	園部　ニコル ＜平成30年4月＞ 修士（応用言語学）	日本事情（Japanese & World Issues）※ Global Communication（English） 語学研修 Global EnglishⅠ Global EnglishⅡ
兼担	教授	林　眞知子 ＜令和3年4月＞ 農学修士	日本事情（Japanese & World Issues）※
兼担	講師	三隅　幸子 ＜平成30年10月＞ 栄養科学修士	関連職種連携論　※ 関連職種連携演習
兼担	准教授	押川　武志 ＜令和3年4月＞ 修士（保健科学）	関連職種連携論※ 関連職種連携演習
兼担	准教授	福山　隆志 ＜平成30年4月＞ 学士（家政学）	生活支援※
兼担	講師	松尾　崇史 ＜令和3年10月＞ 博士（医学）	脳と認知科学
兼担	准教授	渡瀬　浩介 ＜令和2年4月＞ 学士（体育学）	地域連携※
兼担	講師	植田　啓嗣 ＜令和2年4月＞ 修士（学術）	変わりゆく国際社会を生きる
兼担	講師	山口　裕嗣 ＜令和2年4月＞ 博士（人間環境学）	健康運動科学
兼担	教授	岩根　浩 ＜令和2年4月＞ 修士（学校教育学）	文学と言語
兼任	講師	児玉　弘 ＜平成30年4月＞ 修士（法学）	法学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	安藤　高行 ＜平成30年10月＞ 法学博士	日本国憲法
兼任	講師	井上　亜紀 ＜平成30年10月＞ 修士（法学）	日本国憲法
兼任	講師	権藤　幸憲 ＜平成30年4月＞ 博士（農学）	くらしと経済
兼任	講師	高橋　忠夫 ＜平成30年4月＞ 理学博士	生命のしくみ 生物と環境
兼任	講師	辻田　忠志 ＜令和2年4月＞ 博士（ﾊﾞｲｵｻｲｴﾝｽ）	生命のしくみ
兼任	講師	北堀　治志 ＜令和2年4月＞ 博士（農学）	生物と環境
兼任	講師	上山　和俊 ＜平成30年4月＞ 修士（経済学）	統計学の基礎
兼任	講師	福井　市男 ＜平成30年4月＞ 学士	身近な世界の物理学
兼任	講師	大西　真果 ＜平成30年4月＞ 体育学士	フィットネス・スポーツ ウェルネス・スポーツ
兼任	講師	荒木　雪葉 ＜平成30年4月＞ 博士（国際文化）	グローバル化と異文化共生
兼任	講師	永吉　守 ＜平成30年10月＞ 博士（国際文化）	文化人類学
兼任	講師	浅岡　高子 ＜平成30年4月＞ 博士（Philosophy）	日本事情（Japanese & World Issues）
兼任	講師	中村　直子 ＜平成30年4月＞ 準学士	日本事情（Japanese & World Issues）※
兼任	講師	徳永　ヴェラ ＜平成30年4月＞ ＢＡ（学士）英語/日本語	日本事情（Japanese & World Issues）※
兼任	講師	太田　真紀子 ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）	日本事情（Japanese & World Issues） 日本語初級 日本語中級 日本語上級
兼任	講師	谷口　なおみ ＜平成30年4月＞ 学士（教育学）	日本語初級 日本語中級 日本語上級
兼任	講師	早瀬　都子 ＜令和2年4月＞ 博士（学術）	日本語初級 日本語中級 日本語上級
兼任	講師	綱　智子 ＜平成30年10月＞ 文学修士	Basic EnglishⅠ Basic EnglishⅡ 資格英語（ESP）
兼任	講師	申山　智子 ＜令和元年10月＞ 修士（文学）	Basic EnglishⅡ
兼任	講師	小池　知英 ＜令和3年10月＞ 修士（比較社会学）	Basic EnglishⅡ
兼任	講師	Dodgson Patrick Daniel ＜平成30年4月＞ ＢＡ（学士）日本語/観光管理	Global EnglishⅠ Global EnglishⅡ 医療英語
兼任	講師	江口　京子 ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	医療英語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	Gareth Newbold ＜平成30年4月＞ ＢＡ（学士）初等教育	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	阿依努爾・巴拉提 ＜平成30年4月＞ 修士（国際文化）	中国語
兼任	講師	文　芝瑛 ＜平成30年10月＞ 修士（芸術工学）	韓国語
兼任	講師	村田　祐造 ＜平成30年4月＞ 医学博士	看護形態機能学Ⅰ
兼任	講師	熊本　栄一 ＜平成30年4月＞ 理学博士	看護形態機能学Ⅱ
兼任	講師	菖蒲池　健夫 ＜平成30年10月＞ 博士（薬学）	免疫と感染
兼任	講師	寺本　憲功 ＜平成31年4月＞ 医学博士	臨床薬理学
兼任	講師	城　圭一郎 ＜平成30年10月＞ 理学博士	病態栄養学　※
兼担	講師	向井　常博 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病理学
兼任	講師	草野　洋介 ＜平成30年10月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅰ（呼吸・循環器）
兼任	講師	尾崎　岩太 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	加藤　雅人 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	隅　健次 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	坂田　泰志 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	野口　　満 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	東武　昇平 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	有働　和馬 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	鶴崎　政志 ＜平成31年4月＞ 医学博士	病態治療学Ⅲ（筋・骨格、感覚器）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	Eric Raschke ＜平成30年4月＞ Bachelor of Arts	Global EnglishⅠ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	Gareth Newbold ＜平成30年4月＞ ＢＡ（学士）初等教育	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	阿依努爾・巴拉提 ＜平成30年4月＞ 修士（国際文化）	中国語
兼任	講師	文　芝瑛 ＜平成30年10月＞ 修士（芸術工学）	韓国語
兼任	講師	村田　祐造 ＜平成30年4月＞ 医学博士	看護形態機能学Ⅰ
兼任	講師	熊本　栄一 ＜平成30年4月＞ 理学博士	看護形態機能学Ⅱ
兼任	講師	菖蒲池　健夫 ＜平成30年10月＞ 博士（薬学）	免疫と感染
兼任	講師	寺本　憲功 ＜平成31年4月＞ 医学博士	臨床薬理学
兼任	講師	城　圭一郎 ＜平成30年10月＞ 理学博士	病態栄養学　※
兼任	講師	向井　常博 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病理学
兼担	教授	草野　洋介 ＜平成30年10月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅰ（呼吸・循環器）
兼任	講師	尾崎　岩太 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	加藤　雅人 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	隅　健次 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	坂田　泰志 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	野口　　満 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	東武　昇平 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	有働　和馬 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	鶴崎　政志 ＜平成31年4月＞ 医学博士	病態治療学Ⅲ（筋・骨格、感覚器）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	Eric Raschke ＜平成30年4月＞ Bachelor of Arts	Global EnglishⅠ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ Global EnglishⅡ
兼任	講師	Gareth Newbold ＜平成30年4月＞ ＢＡ（学士）初等教育	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ Global EnglishⅠ Global EnglishⅡ
兼任	講師	阿依努爾・巴拉提 ＜平成30年4月＞ 修士（国際文化）	中国語
兼任	講師	文　芝瑛 ＜平成30年10月＞ 修士（芸術工学）	韓国語
兼任	講師	村田　祐造 ＜平成30年4月＞ 医学博士	看護形態機能学Ⅰ
兼任	講師	熊本　栄一 ＜平成30年4月＞ 理学博士	看護形態機能学Ⅱ
兼任	講師	菖蒲池　健夫 ＜平成30年10月＞ 博士（薬学）	免疫と感染
兼任	講師	藤戸　博 ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）	臨床薬理学
兼任	講師	城　圭一郎 ＜平成30年10月＞ 理学博士	病態栄養学　※
兼任	講師	向井　常博 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病理学
兼担	教授	草野　洋介 ＜平成30年10月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅰ（呼吸・循環器） 関連職種連携論　※
兼任	講師	尾崎　岩太 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	加藤　雅人 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	隅　健次 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	坂田　泰志 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	野口　　満 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	東武　昇平 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	有働　和馬 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	鶴崎　政志 ＜平成31年4月＞ 医学博士	病態治療学Ⅲ（筋・骨格、感覚器）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	Eric Raschke ＜平成30年4月＞ Bachelor of Arts	Global EnglishⅠ Global EnglishⅡ
兼任	講師	Gareth Newbold ＜平成30年4月＞ ＢＡ（学士）初等教育	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ Global EnglishⅠ Global EnglishⅡ
兼任	講師	阿依努爾・巴拉提 ＜平成30年4月＞ 修士（国際文化）	中国語
兼任	講師	藤　知映 ＜令和3年10月＞ 家政学修士	韓国語
兼任	講師	大崎　康吉 ＜令和2年4月＞ 歯学博士	看護形態機能学Ⅰ
兼任	講師	熊本　栄一 ＜平成30年4月＞ 理学博士	看護形態機能学Ⅱ
兼任	講師	菖蒲池　健夫 ＜平成30年10月＞ 博士（薬学）	免疫と感染
兼任	講師	藤戸　博 ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）	臨床薬理学
兼任	講師	城　圭一郎 ＜平成30年10月＞ 理学博士	病態栄養学　※
兼任	講師	向井　常博 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病理学
兼担	教授	草野　洋介 ＜平成30年10月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅰ（呼吸・循環器）※ 関連職種連携論　※
兼任	講師	尾崎　岩太 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	加藤　雅人 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※ 病態治療学Ⅰ（呼吸・循環器）※
兼任	講師	隅　健次 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	坂田　泰志 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
		柿木　寛明 （令和2年10月） 学士（医学）	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	東武　昇平 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	有働　和馬 ＜平成30年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅱ（消化器・泌尿器）※
兼任	講師	鶴崎　政志 ＜平成31年4月＞ 医学博士	病態治療学Ⅲ（筋・骨格、感覚器）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤　武 ＜平成31年4月＞ 医学博士	病態治療学Ⅳ（神経・難病、精神疾患）　※
兼任	講師	萩尾　洋介 ＜平成31年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	松尾　宗明 ＜平成31年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	岩永　学 ＜平成31年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	尾形　善康 ＜平成31年10月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	熊本　崇 ＜平成31年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	大塚　泰史 ＜平成31年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	垣内　俊彦 ＜平成31年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	古賀　大介 ＜平成31年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	前田　寿幸 ＜平成31年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	Hashimoto (Gonthier) Rumi ＜平成30年10月＞ Mater of Science in Nursing(MSN)(米国)	自己開発学 自己開発学演習 自己開発学実習 国際看護学 補完・代替医療
兼任	講師	Shibata,katrina Nanako ＜平成30年10月＞ Mater of Public Health(MPH)(米国)	自己開発学 自己開発学演習 自己開発学実習 補完・代替医療
兼任	講師	渡邊　智恵 ＜平成33年10月＞ 修士（学術）	災害看護学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤　武 ＜平成31年4月＞ 医学博士	病態治療学Ⅳ（神経・難病、精神疾患）　※
兼任	講師	萩尾　洋介 ＜平成31年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	松尾　宗明 ＜平成31年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	岩永　学 ＜平成31年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	尾形　善康 ＜平成31年10月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	熊本　崇 ＜平成31年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	大塚　泰史 ＜平成31年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	垣内　俊彦 ＜平成31年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	古賀　大介 ＜平成31年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	前田　寿幸 ＜平成31年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	Hashimoto (Gonthier) Rumi ＜平成30年10月＞ Mater of Science in Nursing(MSN)(米国)	自己開発学 自己開発学演習 自己開発学実習 国際看護学 補完・代替医療
兼任	講師	Shibata,katrina Nanako ＜平成30年10月＞ Mater of Public Health(MPH)(米国)	自己開発学 自己開発学演習 自己開発学実習 補完・代替医療
兼任	講師	渡邊　智恵 ＜平成33年10月＞ 修士（学術）	災害看護学
兼任	講師	竹内　陽慶 ＜平成30年4月＞ 修士（農学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育会）※
兼任	講師	小野　博 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	Global Communication (English)
兼任	講師	古賀　靖之 ＜平成30年10月＞ 修士（教育学）	心理学入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤　武 ＜平成31年4月＞ 医学博士	病態治療学Ⅳ（神経・難病、精神疾患）　※
兼任	講師	萩尾　洋介 ＜令和元年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	松尾　宗明 ＜令和元年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	岩永　学 ＜令和元年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	尾形　善康 ＜令和元年10月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	熊本　崇 ＜令和元年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	大塚　泰史 ＜平成31年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	垣内　俊彦 ＜平成31年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	西　晨範 ＜令和元年10月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	前田　寿幸 ＜令和元年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	Hashimoto (Gonthier) Rumi ＜平成30年10月＞ Mater of Science in Nursing(MSN)(米国)	自己開発学 自己開発学演習 自己開発学実習 国際看護学 補完・代替医療
兼任	講師	Shibata,katrina Nanako ＜平成30年10月＞ Mater of Public Health(MPH)(米国)	自己開発学 自己開発学演習 自己開発学実習 補完・代替医療
兼任	講師	渡邊　智恵 ＜平成33年10月＞ 修士（学術）	災害看護学
兼任	講師	竹内　陽慶 ＜平成30年4月＞ 修士（農学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育会）※
兼任	講師	小野　博 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	Global Communication (English)
兼任	講師	古賀　靖之 ＜平成30年10月＞ 修士（教育学）	心理学入門
兼任	講師	藤田　由美子 ＜令和元年10月＞ 博士（教育学）	ジェンダー論
兼任	講師	小山　裕子 ＜平成31年4月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅳ（神経・難病、精神疾患）　※
兼任	講師	秋吉　知子 ＜令和元年10月＞ 修士（医科学）	老年看護学方法論　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤　武 ＜平成31年4月＞ 医学博士	病態治療学Ⅳ（神経・難病、精神疾患）　※
兼任	講師	萩尾　洋介 ＜令和元年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	松尾　宗明 ＜令和元年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	岩永　学 ＜令和元年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	尾形　善康 ＜令和元年10月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	熊本　崇 ＜令和元年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	大塚　泰史 ＜平成31年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	垣内　俊彦 ＜平成31年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	西　晨範 ＜令和元年10月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	一ノ瀬　文男 ＜令和元年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	Hashimoto (Gonthier) Rumi ＜平成30年10月＞ Mater of Science in Nursing(MSN)(米国)	自己開発学 自己開発学演習 自己開発学実習 国際看護学 補完・代替医療
兼任	講師	Shibata,katrina Nanako ＜平成30年10月＞ Mater of Public Health(MPH)(米国)	自己開発学 自己開発学演習 自己開発学実習 補完・代替医療
兼任	講師	渡邊　智恵 ＜平成33年10月＞ 修士（学術）	災害看護学
兼任	講師	竹内　陽慶 ＜平成30年4月＞ 修士（農学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育会）※
兼任	講師	小野　博 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	Global Communication (English)
兼任	講師	古賀　靖之 ＜平成30年10月＞ 修士（教育学）	心理学入門
兼任	講師	藤田　由美子 ＜令和元年10月＞ 博士（教育学）	ジェンダー論
兼任	講師	小山　裕子 ＜平成31年4月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅳ（神経・難病、精神疾患）　※
兼任	講師	秋吉　知子 ＜令和元年10月＞ 修士（医科学）	老年看護学方法論　※
兼任	講師	大島　侑子 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	母性看護学方法論　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤　武 ＜平成31年4月＞ 医学博士	病態治療学Ⅳ（神経・難病、精神疾患）　※
兼任	講師	萩尾　洋介 ＜令和元年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	松尾　宗明 ＜令和元年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	岩永　学 ＜令和元年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	尾形　善康 ＜令和元年10月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	熊本　崇 ＜令和元年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	大塚　泰史 ＜平成31年10月＞ 医学博士	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	垣内　俊彦 ＜平成31年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	西　晨範 ＜令和元年10月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	一ノ瀬　文男 ＜令和元年10月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾病、婦人科疾患）　※
兼任	講師	Hashimoto (Gonthier) Rumi ＜平成30年10月＞ Mater of Science in Nursing(MSN)(米国)	自己開発学 自己開発学演習 自己開発学実習
兼任	講師	Shibata,katrina Nanako ＜平成30年10月＞ Mater of Public Health(MPH)(米国)	自己開発学 自己開発学演習 自己開発学実習
兼任	講師	渡邊　智恵 ＜令和3年10月＞ 修士（学術）	災害看護学
兼任	講師	竹内　陽慶 ＜平成30年4月＞ 修士（農学）	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育会）※
兼任	講師	小野　博 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	Global Communication (English)
兼任	講師	古賀　靖之 ＜平成30年10月＞ 修士（教育学）	心理学入門
兼任	講師	藤田　由美子 ＜令和元年10月＞ 博士（教育学）	ジェンダー論
兼任	講師	小山　裕子 ＜平成31年4月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅳ（神経・難病、精神疾患）　※
兼任	講師	秋吉　知子 ＜令和元年10月＞ 修士（医科学）	老年看護学方法論　※
兼任	講師	大島　侑子 ＜令和2年4月＞ 学士（医学）	母性看護学方法論　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大城　綾子 ＜令和2年4月＞ 修士（英語教育）	Basic English Ⅰ
兼任	講師	矢ヶ部　あかり ＜令和2年4月＞ 修士（文学）	Basic English Ⅱ
兼任	講師	Peter Thomas Bently Jr ＜令和2年4月＞	Global Communication (English)
兼任	講師	Brown Patricia Sharon ＜令和2年4月＞ Bachelor of Arts	Global Communication (English)
兼任	講師	古賀　久美子 ＜令和2年4月＞ 学士（文学）	日本事情（Japanese & World Issues）※
兼任	講師	岩崎　陵 ＜令和2年4月＞ 修士（生活支援学）	フィットネス・スポーツ ウェルネス・スポーツ
兼任	講師	村岡　淑恵 ＜令和2年4月＞ 修士（健康福祉学）	生活支援　※
兼任	講師	大隈　嘉英 ＜令和2年10月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾患、耳入科疾患）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大城　綾子 ＜令和2年4月＞ 修士（英語教育）	Basic English Ⅰ
兼任	講師	矢ヶ部　あかり ＜令和2年4月＞ 修士（文学）	Basic English Ⅱ
兼任	講師	Peter Thomas Bently Jr ＜令和2年4月＞	Global Communication (English)
兼任	講師	Brown Patricia Sharon ＜令和2年4月＞ Bachelor of Arts	Global Communication (English)
兼任	講師	古賀　久美子 ＜令和2年4月＞ 学士（文学）	日本事情（Japanese & World Issues）※
兼任	講師	岩崎　陵 ＜令和2年4月＞ 修士（生活支援学）	フィットネス・スポーツ ウェルネス・スポーツ
兼担	講師	村岡　淑恵 ＜令和2年4月＞ 修士（健康福祉学）	生活支援　※
兼任	講師	大隈　嘉英 ＜令和2年10月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅴ（小児の疾患、耳入科疾患）※
兼任	講師	平野　貴章 ＜令和3年4月＞ 修士（生活支援学）	フィットネス・スポーツ ウェルネス・スポーツ
兼任	講師	小川　昌英 ＜令和3年10月＞ 博士（健康科学）	国際看護学
兼任	講師	児玉　裕美 ＜令和3年10月＞ 博士（看護学）	補完・代替医療※
兼任	講師	渡辺　直子 ＜令和3年10月＞ 修士（生活支援学）	補完・代替医療※
兼任	講師	菅原　良子 ＜令和3年10月＞ 学士（教育学）	補完・代替医療※ 老年看護学方法論※
兼任	講師	菅　隆司 ＜令和3年4月＞ 学士（医学）	病態治療学Ⅰ（呼吸・循環器）※
兼任	講師	池田　義孝 ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅰ（呼吸・循環器）※
兼任	講師	永田　正喜 ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	病態治療学Ⅰ（呼吸・循環器）※

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【平成３０年度】

・教育的効果を考慮し、「あすなろうⅠ基礎（初年次教育含）」に学長講話の講義を設け、福元裕二学長の担当授業科目に「あすなろうⅠ基礎（初年次教育含）」を追加
・教育的効果を考慮し、「あすなろうⅠ基礎（初年次教育含）」に社会人基礎力講座の講義を設け、竹内陽慶兼任講師を追加
・大家さとみ准教授の「教職センター」兼業就任のため、担当科目より「あすなろうⅠ基礎（初年次教育含）」、「あすなろうⅡ応用（地域課題）」、「あすなろうⅢ臨地協働」の担当を削除
・福浦善友講師が専任教員就任辞退のため削除、後任については公募を行う予定。
・平川忠敏教授の辞職のため、後任の原田純治教授へ変更したが、原田純治教授の病欠のため古賀靖之兼任講師に変更した。
・酒井出教授ご逝去のため、田中豊治教授へ変更
・柳田晃良教授の退職のため兼任講師へ職位変更
・教育的効果を考慮し、古賀浩二教授の担当科目より「情報処理入門」を削除
・児島百合子助教退職のため、福山隆志准教授に変更
・教育的効果を考慮し、高元宗一郎助教の担当科目より「情報処理基礎」を削除
・高元宗一郎助教の異動のため、職位を講師に変更
・教育的効果を考慮し、「日本国憲法」の担当を佐賀キャンパス担当安藤高行兼任講師より神埼キャンパス担当の井上亜紀兼任講師へ変更
・中村直子兼任講師の姓名変更のため永松直子兼任講師に変更
・太田真紀子兼任講師の担当辞退のため、「日本語初級」、「日本語中級」、「日本語上級」の担当を谷口なおみ兼任講師へ変更
・教育的効果を考慮し、「Global EnglishⅠ」、「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」の担当にEric Raschke兼任講師を追加
・教育的効果を考慮し、「Global Communication（English）」の担当に小野博兼任講師を追加
・草野洋介兼任教員が平成30年4月付け本学健康栄養学科専任教授に就任されたため、「兼担」を「兼任」に「講師」を「教授」に変更
・馬塲才悟准教授の学位取得のため保有学位記を「博士（医学）」に変更。
・藤本奈緒子助教の学位取得のため保有学位記を「修士（看護学）」に変更。

【令和元年度】

・教育的効果を考慮し、平成31年度「あすなろうⅠ基礎（初年次教育含）」は、岡﨑美智子教授、白田久美子教授、鷹居樹八子教授、中島洋子教授、馬塲才悟准教授、床島正志准教授、上野恭子准教授、葛原誠太講師、仲道由紀講師、森本眞寿代講師、上野幸子講師、村岡早苗講師、南里玲子講師、平原直子講師、大庭悠希助教、藤本奈緒子助教が担当。
・教育的効果を考慮し、平成31年度「あすなろうⅡ応用（地域課題）」は、岡﨑美智子教授、鷹居樹八子教授、小林幸恵准教授、池田佐知子准教授、古川久美子講師、葛原誠太講師、仲道由紀講師、上野幸子講師、村岡早苗講師、南里玲子講師、平原直子講師、大坪奈保助教、大庭悠希助教、藤本奈緒子、宮﨑みゆき助教が担当。
・吉田恭子講師が専任講師辞退のため削除、後任として平原直子講師を専任補充「平成31年1月教員審査済」。一部の科目担当が不可であったため、該当科目の担当については補充のため募集を行う予定。
・前原宏美講師が専任講師退職のため削除、後任については募集を行う予定。「看護過程論」、「生活支援技術論」、「生活支援技術論演習」、「臨床関連技術論演習」「関連職種連携論」については平原直子講師の科目追加として、平成31年4月教員審査済み。
・森田夏代講師の就任については平成31年4月着任予定であったが、現職の都合等により令和元年10月より就任予定。
・香川せつ子兼担教授退職のため、兼任講師へ変更。
・香川せつ子兼担教授退職に伴い、「ジェンダー論」の担当を藤田由美子兼任講師へ変更。
・太田保之兼担教授退職のため、小山裕子兼任講師に変更。
・山田力也兼担准教授の職位変更のため、職位を「准教授」より「教授」へ変更。
・山田力也兼担教授の職位変更に伴い、講義時間数の見直しのため「フィットネス・スポーツ」の担当を山田力也教授より福本敏雄教授へ変更
・Dodgson Patrick Daniel兼任講師の辞退のため、「Global EnglishⅠ」及び「Global EnglishⅡ」をGareth Newbold兼任講師へ、「医療英語」を江口京子兼任講師へ変更。
・教育的効果を考慮し、「Global EnglishⅡ」の担当にEric Raschke兼任講師を追加。
・時間割調整の都合上のため「Basic EnglishⅡ」の担当を綱智子兼担講師より幸山智子兼任講師に変更。
・寺本憲功兼任講師辞退のため、藤戸博兼任講師に変更。
・古賀大介兼任講師辞退のため、西眞範兼任講師に変更。
・教育的効果を考慮し、草野洋介兼担教授の担当授業科目に「関連職種連携論（オムニバス1コマ）」を追加。
・吉田恭子講師の専任講師辞退による教員の補充として、「老年看護学方法論」に秋吉知子兼任講師を補充。
・上野幸子講師の学位取得のため保有学位記を「修士（生活支援学）」に変更。
・南里真美助教の学位取得のため保有学位記を「修士（生活支援学）」に変更。
・田中麻里准教授の職位変更のため、職位を「准教授」より「教授」へ変更。
・近藤芳昭兼担准教授の職位変更のため、職位を「准教授」より「教授」へ変更。
・飯盛（小倉）啓生兼担講師の職位変更のため、職位を「講師」より「准教授」へ変更。

【令和２年度】

・前原宏美講師の後任として令和２年４月石原尚美講師就任。「令和元年11月教員審査済」。
・福浦善友講師の後任として令和２年４月齋藤嘉宏講師就任。「令和元年11月教員審査済」。
・葛原誠太講師の学位取得のため保有学位記を「博士（医学）」に変更。
・村岡早苗講師の学位取得のため保有学位記を「修士（生活支援学）」に変更。
・教育的効果を考慮した教員配置を検討し、令和2年度「あすなろうⅠ基礎（初年次教育含）」は、岡﨑美智子教授、白田久美子教授、鷹居樹八子教授、中島洋子教授、北原悦子教授、正野逸子教授、黒田研二教授、床島正志准教授、上野恭子准教授、藤田史恵准教授、葛原誠太講師、石原尚美講師、森田夏代講師、斎藤嘉宏講師、川島睦子講師、平原直子講師、宮﨑みゆき助教、南里真美助教が担当。
・教育的効果を考慮した教員配置を検討し、令和2年度「あすなろうⅡ応用（地域課題）」は、岡﨑美智子教授、鷹居樹八子教授、小林幸恵准教、馬場才悟准教授、池田佐知子准教授、古川久美子講師、葛原誠太講師、石原尚美講師、葛原誠太講師、斎藤嘉宏講師、仲道由紀講師、上野幸子講師、川島睦子講師、村岡早苗講師、南里玲子講師、大坪奈保助教、大庭悠希助教、藤本奈緒子助教、宮﨑みゆき助教、南里真美助教が担当。
・教育的効果を考慮した教員配置を検討し、令和2年度「あすなろうⅢ臨地協働」は、中島洋子教授、白田久美子教授、床島正志准教授、上野恭子准教授、藤田史恵准教授、森田夏代講師、葛原誠太講師、森本眞寿代講師、平原直子講師、藤本奈緒子助教が担当。
・教育的効果を考慮した教員配置を検討し、令和2年度「関連職種連携演習」は、専任教員では岡﨑美智子教授、鷹居樹八子教授、中島洋子教授、北原悦子教授、正野逸子教授、馬場才悟准教授、床島正志准教授、葛原誠太講師、上野幸子講師、平原直子講師、藤本奈緒子助教、宮﨑みゆき助教、南里真美助教が担当。
・令和2年度より、福元裕二より久木野憲司に学長が交代したため変更。
・香川せつ子兼任講師の辞退のため、「生涯学習論」の担当を上野景三兼担教授に変更。
・「生活支援」の担当を上城憲司兼担教授より小浦誠吾兼担教授に変更。
・「関連職種連携演習」の担当を西村喜文兼担教授より赤川力兼担講師に変更。
・福本敏雄兼担教授退職のため、西田明史兼担准教授に変更。
・大田尾浩兼担准教授の職位変更のため、職位を「准教授」より「教授」へ変更。
・江口賀子兼担准教授より桃井克将兼担講師に変更。
・加藤稔子兼担講師の職位変更のため、職位を「講師」より「准教授」へ変更。
・教育的効果を考慮したクラス編成のため、園部ニコル兼担講師の担当科目に「Global EnglishⅠ」「Global EnglishⅡ」を追加。
・小松洋平兼担講師の職位変更のため、職位を「講師」より「准教授」へ変更。
・松尾崇史兼担助教退職のため削除。
・「地域連携」の担当を高元宗一郎兼任講師より渡瀬浩介兼担准教授に変更。
・「変わりゆく国際社会を生きる」の担当に植田啓嗣兼担講師を追加。
・「健康運動科学」の担当を甲木秀典兼担講師より山口裕嗣兼担講師に変更。
・教育的効果を考慮したクラス編成のため、山口裕嗣兼担講師の担当科目に「フィットネス・スポーツ」を追加。
・「文学と言語」の担当を濱田隆兼任講師より岩根浩兼担教授に変更。
・高橋忠夫兼任講師辞退のため、「生命のしくみ」を辻田忠志兼任講師、「生物と環境」を北垣浩志兼任講師に変更。
・太田真紀子兼任講師辞退のため削除。
・谷口なおみ兼任講師辞退のため、早瀬郁子兼任講師に変更。
・教育的効果を考慮したクラス編成のため、Eric Raschke兼任講師の担当科目に「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」を削除。
・村田祐造兼任講師辞退のため大﨑康吉兼任講師に変更。
・野口満兼任講師辞退のため柿木寛明兼任講師に変更。
・前田寿幸兼任講師辞退のため一ノ瀬文男兼任講師に変更。
・教育的効果を考慮し、講義に医師の講話を取り入れたため「母性看護学方法論」に大島侑子兼任講師を追加。
・教育的効果を考慮したクラス編成のため、「Basic EnglishⅠ」の担当に大城綾子兼任講師を追加。
・教育的効果を考慮したクラス編成のため、「Basic EnglishⅡ」の担当に矢ヶ部あかり兼任講師を追加。
・教育的効果を考慮した演習事業を行うため、「Global Communication（English）」の担当にPeter Thomas Bently Jr兼任講師、Brown Patricia Sharon兼任講師を追加。
・教育的効果を考慮し「日本事情（Japanese & World Issues)」の担当に古賀久美子兼任講師を追加。
・「フィットネス・スポーツ」の担当を大西真果兼任講師より岩嵜駿兼任講師に変更。
・教育的効果を考慮したクラス編成のため、岩嵜駿兼任講師の担当科目に「ウェルネス・スポーツ」を追加。
・長野恵子兼担教授退職のため「生活支援」を村岡淑恵兼任講師に変更。
・石松秀兼担教授の退任に伴い、「病態栄養学」の担当を安部恵代兼担教授へ変更。
・村田祐造兼任講師の担当辞退により「看護形態機能学Ⅰ」の担当を大崎康吉兼任講師に変更。
・前田寿幸兼任講師辞退のため、「病態治療学Ⅴ（小児の疾患、婦人科疾患）」の担当を一ノ瀬文男兼任講師へ変更。
・教育的効果を考慮し「病態治療学Ⅴ（小児の疾患、婦人科疾患）」の担当に大隈恵美兼任講師を追加。

【令和３年度】

・北原悦子教授が一身上の都合により特任教授に就任のため、授業担当科目を「小児看護学概論」と「看護研究ゼミナール」の2科目に削減した。
・仲道由紀講師が一身上の都合により退職のため専任教員削除。後任については公募予定である。
・教育的効果を考慮した教員配置を検討し、令和3年度「あすなろうⅠ基礎（初年次教育含）」は、専任教員全員（北原悦子教授除く）で担当。
・教育的効果を考慮した教員配置を検討し、令和3年度「あすなろうⅡ応用（地域課題）」は、鷹居樹八子教授、小林幸恵准教授、池田佐知子准教授、古川久美子講師、石原尚美講師、村岡早苗講師、南里玲子講師、大坪奈保助教、大庭悠希助教、南里真美助教が担当。
・教育的効果を考慮した教員配置を検討し、令和3年度「あすなろうⅢ臨地協働」は、中島洋子教授、白田久美子教授、床島正志准教授、上野恭子准教授、藤田史恵准教授、森田夏代講師、葛原誠太講師、森本眞寿代講師、平原直子講師、齋藤嘉宏講師、藤本奈緒子助教が担当。
・教育的効果を考慮した教員配置を検討し、令和3年度「関連職種連携演習」は、専任教員では岡﨑美智子教授、鷹居樹八子教授、中島洋子教授、正野逸子教授、馬場才悟准教授、上野恭子准教授、川島睦子講師、葛原誠太講師、上野幸子講師、平原直子講師、森本眞寿代講師、齋藤嘉宏講師、脇﨑裕子講師、宮﨑みゆき助教、大庭悠希助教、藤本奈緒子助教が担当。
・齋藤嘉宏講師の「関連職種連携演習」の担当については「令和元年11月教員審査済」である。
・教育的効果を考慮し、令和3年度「関連職種連携実習」は、馬場才悟准教授、藤田史恵准教授、葛原誠太講師、森本眞寿代講師、脇﨑裕子講師、大庭助教が担当。
・教育的効果を考慮し、令和3年度「看護管理実習」は、川島睦子講師、上野恭子准教授、古川久美子講師、森田夏代講師、平原直子講師、大坪奈保助教が担当。
・教育的効果を考慮し、「看護シミュレーション演習」の講義担当を森田夏代講師、川島睦子講師、大庭悠希助教３名の共同講義を森田夏代講師及び川島睦子講師２名の共同講義に変更。
・教育的効果を考慮し、「高度医療と看護」の講義担当を森田夏代講師及び大庭悠希助教の共同講義を森田夏代講師の単独講義に変更。
・教育効果を考慮し、久木野憲司学長の「地域連携」（オムニバス担当分）を、その他の当該科目担当教員に変更。
・教育効果を考慮し、高元宗一郎兼担講師の「情報処理入門」及び「情報処理基礎」を、古賀浩二兼担教授に変更。
・桃井克将兼担講師の退任に伴い、「関連職種連携演習」の担当を江口賀子兼担准教授へ変更。
・他学部の人事により、近藤芳昭兼担教授の「ウェルネス・スポーツ」の担当を、山田力也兼担教授に変更。
・他学部の人事により、山口裕嗣兼担講師の「フィットネス・スポーツ」の担当を、近藤芳昭兼担教授に変更。
・西田明史兼担准教授の退職に伴い、「フィットネス・スポーツ」の担当を平野貴章兼任講師へ変更。
・他学部の人事により「日本事情（Japanese & World Issues)の担当を熊川景子兼担講師から林眞知子兼担教授へ変更。
・他学部の人事により「関連職種連携論」及び「関連職種連携演習」の担当を小松洋平兼担准教授から押川武志兼担准教授へ変更。
・他学部の人事により「脳と認知科学」の担当を小浦誠吾兼教授及び長谷川隆史兼任講師から松尾萌美兼担講師へ変更。
・「肥前の歴史と文化」は例年履修者数が少なく開講しないため、川副義敦兼任講師を削除。
・大西真果兼任講師の担当辞退により「ウェルネス・スポーツ」の担当を平野貴章兼任講師に変更。
・「文化人類学」は例年履修者が少なく開講しないため、永吉守兼任講師を削除。
・前期に留学生が不在のため、早瀬郁子兼任講師の「日本語初級」（留学生対象科目）を削除。
・幸山智子講師の担当辞退により、「Basic EnglishⅡ」の担当教員を小池知英兼任講師に変更。
・文芝瑛兼任講師の担当辞退により、「韓国語」の担当を藤知映兼任講師に変更。
・安部恵代兼担教授が三隅幸子兼担講師及び熊川景子兼担講師の「病態栄養学」講義についても担当されるため、三隅幸子兼担講師及び熊川景子兼担講師の「病態栄養学」を削除。
・草野洋介兼担教授の科目担当の「病態治療学Ⅰ（呼吸・循環器）」を、加藤雅人兼任講師、菅謙司兼任講師、池田義孝兼任講師、永田正喜兼任講師とオムニバスで開講。
・Hashimoto（Gonthier)Rumi兼任講師の「国際看護学」担当辞退のため、小川里美兼任講師に変更。
・Hashimoto（Gonthier)Rumi兼任講師、Shibata, katrina Nanako兼任講師の「補完・代替医療」担当辞退のため、児玉裕美兼任講師、渡辺直子兼任講師、菅原良子兼任講師に変更。
・教育的効果を考慮し、「老年看護学方法論」に菅原良子兼任講師を追加。
・秋吉知子兼任講師の姓名変更のため西村知子兼任講師に変更
・他学部の人事により村岡淑恵兼任講師を兼担講師に変更。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）ー①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）ー②　専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
7	7	13	5	32	0	7	7	12	5	31	0
(3)	(4)	(5)	(2)	(14)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						**現在（報告時）の完成年度時の計画**					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
7	7	12	5	31	0	7	7	13	5	32	0
[－]	[－]	[△1]	[－]	[△1]	[－]	[－]	[－]	[－]	[－]	[－]	[－]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）ー③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教　授：68歳 准教授：65歳 その他の教職員：60歳 歳	11 名	11 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）ー④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{31}{32} = \boxed{96.87}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{11}{31} = \boxed{35.48}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）ー①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	講師	福浦　善友	H29.9	必修	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含）	①	H29.9ー身上の都合により就任辞退（30）
				必修	あすなろうⅡ 応用（地域課題）	①	
				必修	あすなろうⅢ 臨地協働	①	
				必修	生活支援論実習	①	
				必修	看護過程論実習	①	
				必修	精神看護学方法論	①	
				必修	精神看護学実習	①	
				選択	関連職種連携演習	①	
				選択	家族看護学	①	
				必修	看護研究方法論	①	
				必修	看護研究ゼミナール	①	
2	講師	吉田　恭子	H30.4	必修	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含）	①	H30.4ー身上の都合により就任辞退（元）
				必修	あすなろうⅡ 応用（地域課題）	①	
				必修	あすなろうⅢ 臨地協働	①	
				必修	生活支援論実習	①	
				必修	看護過程論実習	①	
				必修	老年看護学方法論	②	
				必修	老年看護学実習	③	
				選択	関連職種連携演習	①	
				選択	看護管理実習	①	
				必修	看護倫理学	①	
				必修	看護研究ゼミナール	①	

合計（Ｄ）				後任補充状況の集計（Ｅ）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
2　人	必修	18	科目	必修	16	科目	必修	1	科目	必修	1 科目
	選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	22	科目	計	20	科目	計	1	科目	計	1 科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。

・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	前原　宏美	H31.3	必修	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含）	①	H31.3.31付け一身上の都合により辞任（元）
				必修	あすなろうⅡ 応用（地域課題）	①	
				必修	あすなろうⅢ 臨地協働	①	
				必修	看護過程論	①	
				必修	生活支援技術論	①	
				必修	生活支援技術論演習	①	
				必修	臨床関連技術論演習	①	
				必修	生活支援論実習	①	
				必修	看護過程論実習	①	
				必修	関連職種連携論　※	①	
				選択	関連職種連携演習	①	
				選択	関連職種連携実習	①	
				必修	看護研究ゼミナール	①	
2	講師	仲道　由紀	R3.3	必修	あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含）	①	R3.3.31付け一身上の都合により辞任（３）
				必修	あすなろうⅡ 応用（地域課題）	①	
				必修	あすなろうⅢ 臨地協働	①	
				必修	生活支援論実習	①	
				必修	看護過程論実習	①	
				必修	母性看護学方法論	②	
				必修	母性看護学実習	②	
				選択	関連職種連携演習	①	
				選択	看護管理実習	①	
				必修	看護研究ゼミナール	①	

合計（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｇ）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
2　人	必修	19	科目	必修	17	科目	必修	0	科目	必修	2 科目
	選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	23	科目	計	21	科目	計	0	科目	計	2 科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
4　人	必修	37	科目	必修	33	科目	必修	1	科目	必修	3	科目
	選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	45	科目	計	41	科目	計	1	科目	計	3	科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{4}{32} = 12.5\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1　人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

該当なし

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由

合計				後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について に記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。

・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

福浦善友氏の後任について、「あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含）」「あすなろうⅡ 応用（地域課題）」「あすなろうⅢ 臨地協働」「生活支援論実習」「看護過程論実習」「精神看護学方法論」「精神看護学実習」「関連職種連携演習」「看護研究方法論」「看護研究ゼミナール」の担当は齋藤嘉宏講師（令和元年12月AC可）が令和2年4月1日より就任し担当する。
学生への指導体制として、令和元年前期に開講予定の「看護過程論実習」は、設置申請通り非常勤実習指導者3名あてる。令和元年後期から開講予定の「家族看護学」は、福浦氏担当予定科目であったが、平成31年4月1日採用の平原直子講師が、AC教員審査において「家族看護学」は「可」の判定を受けたので担当する。

吉田恭子氏の後任については、前述のAC教員審査を受けた平原直子講師を平成31年4月1日から採用した。担当科目は、「あすなろうⅠ基礎（初年次教育含）」「あすなろうⅡ応用（地域課題）」「あすなろうⅢ（臨地協働）」「生活支援論実習」「看護過程論実習」「関連職種連携論演習」「看護管理実習」「看護倫理学」「看護研究ゼミナール」「家族看護学」で、AC教員審査にて「可」判定を受けた。ただし、「老年看護学方法論」「老年看護学実習」が「不可」と判定され、専任教員の補充を受けて適任者の募集を行っているが「老年看護学方法論」については当面の間は秋吉知子兼任講師を充てる。
なお、平原講師の不可科目「老年看護学方法論」「老年看護学実習」については、再度同教員にて、AC教員審査（令和3年9月）を受ける予定である。

前原宏美氏の後任について、「あすなろうⅠ 基礎（初年次教育含）」「あすなろうⅡ 応用（地域課題）「あすなろうⅢ 臨地協働」「看護過程論」「生活支援技術論」「生活支援技術論演習」「臨床関連技術論演習」「生活支援論実習」「看護過程論実習」「関連職種連携論」「関連職種連携演習」「関連職種連携実習」「看護研究ゼミナール」の担当は石原尚美講師（令和元年12月AC可）が令和2年4月1により就任し担当する。

仲道由紀氏の後任については、AC教員審査（令和3年1月審査）を受けた候補者が職位不適格であったため、「講師」担当教員を公募予定である。

学生への周知については、学期初めのガイダンスにおいて教員紹介及び説明を行い周知を行っている。

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （2018年）	運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項	運動場及び体育館を使用する正課の授業科目である「健康スポーツのフィットネス・スポーツ」等は、本学神埼キャンパスで実施され、授業時間に合わせてスクールバスを運行し支障が無いようにしている。 その区間は、既運行のJR神埼駅・佐賀駅から神埼キャンパスへの便と、新たに小城キャンパス（看護学部）の最寄りの駅であるJR牛津駅（小城駅経由）から神埼キャンパスへの便を増発している。 また、課外活動においては、新入生へ他学部生既存のサークル紹介をし、活動をし始めつつあり、移動については、前述のスクールバスを、その他JRや自家用車（学生用駐車場整備）を用いて支障が無いようにしている。 なお、小城キャンパス（看護学部）でスポーツ系サークル等を設立する場合には、小城市有の小城公園グランド、小城体育センター等や隣接の桜岡小学校のグランド、体育館を放課後に利用（要予約）することができるよう小城市と協議を済ましている。	履行済	

認　可　時 （2018年）	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	本学では、「学校法人永原学園教職員就業規則」の附則に定年延長の措置を講じており、当該教員（高）は完成年度までの教育課程を遂行していくために必要不可欠な人材であると認め、この期間を延長できることとしている。開学４年目を迎え、当該教員（高）は一人もリタイアすることなく大学教育などの豊かな知識・経験者としての智慧を必要とすることが多々あり、設置計画の履行に伴う諸課題へ先導的役割で学部学科の運営を行ってきた。 特記事項として、令和2年度は、新型コロナ感染症対策で遠隔授業への変更及び臨地実習の学内実習への変更を余儀なくされた。臨地実習において当該教員（高）のアイディアと工夫・実施したことの一例は、老年看護学において、文部科学省のガイドラインに沿った学内実習、高齢者施設でのアクティビティ・ケアを企画していたが、臨地で学ぶ機会をなくした。そのため、学内において臨床美術や高齢者対象のゲームを学生に企画させ、学生・教職員を模擬高齢者として参加させその効果を評価し、指導技術や高齢者の生きる意欲を引き出す指導方法について考えさせた。また、成人看護学（慢性）において、地域のクリニックの医師と連携して、リモートで医師の講義を聴き、そのあと糖尿病の疾患をもち地域で生活しておられる患者さんと対話を通して、慢性疾患の看護を学ぶ体験を実施し、外来看護への理解を深めた。これまでに経験したことのない学内実習において、長年の教育経験を発揮し、地域の医療関係者の動員と理解を得ることができたことは特記すべきことである。 当該教員（高）を含む全教員に対する遠隔授業等の新たな取り組みとして学部内FD研修（e-learning・シミュレーション教材開発等）および全学FD研修（ICTによる授業展開・Teams活用等）を通して遂行できた。また、全学FD研修で教員（高）は、看護学部のICT教育の取り組みについて臨地実習を学内実習に変更して工夫したことを報告した。 研究については、外部研究費（資金）として科学研究費を1名の教員が新たに獲得でき、継続して科研費に採択された教員は６名（うち2名は当該教員（高））となり研究の充実を図る準備状況ができたことになる。	履行中	今後の実施計画としては、教育研究活動を展開する上で、教育内容等の改善を図るための組織的な研修等（「設置の趣旨を記載した書類」の項目）の取組みを進めるとともに、適正な教員組織編成（年齢構成、各専門領域の職位別の教員配置）とするため、一例を挙げると准教授から教授への昇任等を適切に行い、その後任を新規採用（公募）することなどにより、専任教員の構成について一層の適正化を図っていく。

設置計画履行状況調査時（2018年）	該当なし				
設置計画履行状況調査時（2019年）	該当なし				
設置計画履行状況調査時（2020年）	該当なし				

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜看護学部　看護学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①　一般入試（Ⅰ期・Ⅱ期） 必須：英語（コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ） 選択：化学基礎、生物基礎、数学Ⅰ･数学Aより1科目選択	①　学力の3要素を多面的・総合的に評価するために、必須科目である英語（コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ）に国語総合（古文・漢文を除く）を追加し、選択必須とした。また、選択科目である化学基礎、生物基礎、数学Ⅰ・数学Aに世界史B、日本史B、現代社会を追加した。 選択必須：英語（コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ） 国語総合（古文・漢文を除く） 選　　択：化学基礎、生物基礎、数学Ⅰ・数学A、 世界史B、日本史B、現代社会より1科目選択

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

西九州大学ファカルティ・ディベロップメント委員会を置き、ＦＤ活動を実施している。
※西九州大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程を添付

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和3年度は7、8、9、11月及び2月に開催。
委員構成は副学長、研究科長、各学部長、教務部長、教務部副部長、各学部教員12人、事務局長の計22名。

ｃ　委員会の審議事項等

・中期目標・中期計画に基づくアクションプログラムの令和2年度活動状況の確認と令和3年度活動計画について
・ＦＤ研修会の開催について
・教育研究活動の活性化について

②　実施状況

ａ　実施内容

１）「大学を取り囲む現在の環境と本学が取り組むべきことについて」
（西九州大学ＦＤ研修会）

２）「令和3（2021）年度科研費の申請について」
「科研費獲得には何が必要か」
（西九州大学・西九州大学短期大学部ＦＤ合同研修会）

３）「遠隔授業充実への取組み」
（西九州大学・西九州大学短期大学部ＦＤ合同研修会）

４）「データサイエンス教育について」
（西九州大学・西九州大学短期大学部ＦＤ合同研修会）

５）「産学官連携で開発を進める対話型ＡＩ自動運転システムの開発」
（西九州大学・西九州大学短期大学部ＦＤ合同研修会）

ｂ　実施方法

１）講演会形式
２）ZOOMを利用しての開催
３）ZOOMを利用しての開催
４）ZOOMを利用しての開催
５）ZOOMを利用しての開催

c　開催状況（教員の参加状況含む）

１）令和2年7月30日開催。教員87名、職員1名、計88名参加。
２）令和2年9月23日開催。教員92名、職員7名、計99名参加。
３）令和2年10月22日開催。教員120名、職員22名、計142名参加。
４）令和2年12月3日開催。教員109名、職員22名、計131名参加。
５）令和3年3月4日開催。教員107名、職員5名、計112名参加。

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

１）AI戦略2019に対応するための新規教育プログラム、人材育成構想の概要についての説明があり、今後、本学が取り組むことについての意識を醸成した。
２）科学研究費申請の変更点及び注意点についての説明がなされ、申請における要点について、獲得例を基にその知識を醸成した。
３）各学科の代表者より、遠隔授業実施にあたっての工夫や学生の反応、今後の課題等について報告がなされた。教員ごとに様々な工夫があり、多くの教員への参考となった。
４）令和3年度から新設予定であるデータサイエンス関連科目について、その新設の背景、概要、ねらいの説明がなされた。後期開講予定の「データサイエンス演習」は、ゼミ形式の授業形態をとるため、各学科にて準備を進めていくこととなった。
５）自動運転技術と医療・福祉との繋がりを認識できる内容だった。様々な分野と関わることが大切だということや、この産学官の取組みを聞いたことにより研究視野が拡がったという意見もあった。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a　実施の有無及び実施時期

前学期と後学期の各学期末にWeb調査（選択式及び記述式、前期7月・後期1月）を実施。
また、遠隔授業に関するWeb調査（選択式及び記述式、8月）を実施した。

b　教員や学生への公開状況、方法等

各学期末調査の集計結果について、当該教員へポータルサイトにて周知するとともに、学生も閲覧できるよう「学生による授業評価アンケートに関する報告書」を図書館及び大学ホームページで公開。
遠隔授業に関する調査結果は、「遠隔授業充実への取組」のＦＤ研修会の中で公開した。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

①　体制

a　委員会の設置状況

b　委員会の開催状況（回数や開催日など）

c　委員会の審議事項等

d　その他

②　審議状況

a　審議した内容

b　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

Ⅰ設置の趣旨、学部学科の特色等について

ⅰ期待される大学における看護学教育

佐賀県内の看護系大学教育は佐賀大学医学部看護学科と本学の2校である。開学4年目、県内及び近隣県の実習病院における実習指導者と担当する教員（非常勤実習指導9名含む）との連携ないし指導体制等が上手く図られ、学生が安心して臨地実習に臨め、その結果、実習先及び患者様から好評であった。なお、専門学校との違いを臨地実習の受入依頼から臨地実習指導の実際および評価の在り方を通して、病院関係者へ徐々に理解させることができた。この4月から卒業後の就職活動が始まり、佐賀大学医学部附属病院および佐賀県医療センターから本学に対し看護師等募集（一般採用）に加え、2～3名の特別推薦枠の要請を受けた。そのことに対応するために、看護学部内に推薦委員会を設け適正な人材を公平に推薦できる配慮をした。

令和4年3月の卒業予定は1期生88名である。保健師専攻30名、養護教諭10名を含め、佐賀県内へ就職希望者は多く県の人材確保の需要に応えるものである。

ⅱ医療・保健・福祉・教育等を基盤とした看護専門職の育成

教育課程のコンセプトは、「いのち・くらし・生きる」とし、地域包括ケア時代の人材育成を目的に、医学的基礎知識に基づき科学的根拠を持った看護実践ができるように教育課程を展開し、おおむねその目的は達成できている。その根拠として、講義で基礎理論を学び演習で専門的知識に裏づけられた看護技術を身につけ、臨地実習で看護実践を経験できる教育方法を専任教員と非常勤講師・非常勤実習助手と連携を密にして展開した。臨地実習の計画は、特定機能病院から地域基幹病院・中小規模病院と多様な設置主体の実習病院に加えて、福祉施設・保育所・学校保健室・事業所等の実習施設に受入の依頼をし、保健・医療・福祉・介護を基盤とした看護専門職の育成をするとして実施している。このような臨地実習施設の多様性は、学生に看護職のみでなく関連職種の連携の重要性を学ぶ機会を与えた。

ⅲ他学部との関連職種連携に関する科目の設定

本学部の教育課程の中で「関連職種連携論」「関連職種連携論演習」「関連職種連携論実習」は、本大学の他学部と連携した教育科目として特徴を持つものである。3つのキャンパスは、神埼市・佐賀市・小城市と25分から45分の移動時間を必要とすることから、リモートによる遠隔授業とした。社会福祉学部（社会福祉学科、スポ-ツ健康福祉学科）・リハビリテーション学部（理学療法学科、作業療法学科）・子ども学部（臨床カウンセリング学科、子ども学科）から、学生及び教員の参加を得て、事例を中心として意見交換を行い、おおむね目標を達成できた。

ⅳ地域看護研究研修センター活動状況

看護学部の附置組織の役割として、コロナ禍にあるため多数の看護専門職を対象とした研修会は開催できなかったが、企画を縮小して実施した。学生の臨地実習指導のための指導力を向上させるために、「非常勤実習助手と専任教員のための臨地実習指導者研修会」の開催、学部内FD委員会と合同の専任教員のための「ICT（e-Learning・Teams）教育のスキルアップ研修」「シミュレーション教育のあり方」「外部資金の獲得と研究倫理のための研修」等、地域と連携した教育・研究活動を実施してきた。加えて、研究資金獲得のために、科学研究助成金等外部資金の申請について研修を実施した。認知症患者と家族のケア等、研究成果は地域に還元し、本研究研修センターに期待されている役割を果たした。

加えて、佐賀県看護協会への本学部教員の貢献も大きい。佐賀県看護協会長は大本学教員から推薦され、全国看護学会の企画委員・査読委員及び各種研修会・講習会の講師としての役割を果たしている。

Ⅱ教育課程の編成、及び教育方法、履修方法について

ⅰ人材育成の指針

看護専門職として備えておくべき力をアドミッション・ポリシーを基本に入学試験を行い入学定員の確保に努め、またカリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに沿って学生の専門職にふさわしい学力・実践力・倫理的行動を陶冶し、４年目を迎えた今日、コロナ禍の影響を受けながらもおおむね達成できた。

ⅱ授業（実習）に関すること

2020年度は4月から新型コロナ感染症の影響を受け、講義・演習・臨地実習の方法及び計画を変更せざるを得なかった。文部科学省の通知（方針）に沿って学生の不利益等にならないよう対策を取り、計画通りに教育課程をおおむね実施できた。
変更点は、㈠臨地実習について、2年次生は、1年次の3月に計画していた「生活支援論実習」が、実習施設からの受入「断り」で中止となったため、PCR検査を全学生に実施し「陰性」の結果であったため3日間の臨地実習を2年次後期に実施した。加えて2年次の「看護過程論実習」も計画通りに実施できず、学内実習に切り替え、臨地に限りなく近い状態で教員により模擬電子カルテを作成し、動画（DVD）事例を視聴して患者情報を収集させた。3年次の後期の臨地実習は、実習施設により受け入れが異なったため、学内実習と実習施設のバランスを考慮して、学生のグループ編成を変更し、全学生の40%～80%は臨地実習が可能となるように計画を変更した。

㈡コロナ禍における授業の開講状況は、共通教育、専門基礎教育、専門教育とも、教育課程に沿って時間割が設定されているが、1年次後期の専門基礎科目「いのちの科学」の時間割は非常勤講師が多く遠隔授業はタイトになる傾向が是正できなかった。その要因は、時間割が予定通り組み込めない実情があった。

㈢臨地実習に関する実習記録について、患者の個人情報保護を厳守する目的で､パーソナル・コンピュータ（ノートPC）とUSBセキュリティキー（SASTIKⅢ/Thin- Clientlayer）のシステム導入をしたが、最終的に指紋認証USBメモリに変更を余儀なくされた。変更理由は、文部科学省（私学行政課）へ報告済みであるが、臨地実習中の不具合（実習記録の印刷不可及び破損消失等）など多くの問題点が生じたために同導入業者と契約解除し、当初の計画・目的を達成するために、最終的に指紋認証USBに変更した。その後は、臨地実習中、効果的に利用かつ実習記録および同USBの紛失等も一切なく信頼を得ている。

㈣令和４年度からの保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴う本学部の教育課程を見なおし、全教員の意見を踏まえた新カリキュラムを検討している。見直し点は、専門教育における臨地実習および専門授業科目の学年進行にそった効果的な学年配当等である。

Ⅲ教員組織の編成について

教員組織は、設置計画通りに2020年4月1日から8名の専任教員（教授3名、准教授1名、講師3名、助教1名）、の就任を得た。2018年に就任した教員13名、2019年10名、2021年4月1日現在の専任教員数は、31名である（教授7名、准教授7名、講師12名、助教5名）。現時点の教員組織は、設置計画より1名の減である。母性看護学領域の講師1名の退職（2021年3月31日付）に伴い、AC教員審査を受けた教員の判定が不可であったため、現在公募予定中である。看護学部看護学科の教育環境を整備し、学生の受け入れ及び計画通りの委員会活動を開始し学部内の運用及び学内委員会活動、公開講座への参加、他学部授業の兼担業務を遂行している。専任教員のうち准教授１名は、専門領域が学校保健であるため、2018年4月から大学の教職センターと看護学科教職を兼担していたが、2020年10月、兼担は免除された。

Ⅳ施設、設備等について

講義室、演習室、実習室、ゼミ室、アクティブラーニング・ゼミ室、図書館、PCルームは有効に活用されている。４年目を迎え、学生数367名となった。教育課程に沿って授業・演習・学内実習を計画し、有効に活用している。特に、シミューレション室は、学内実習に有効活用され、学修成果をあげている。校舎全体の淡いベージュカラーは、受験生・見学者へ明るく清潔感があると好評である。

次に、教育実施上の学生への配慮（設備）等として、小城キャンパスが「囲障」の形態をとっていないので（境界は公道・公園）、校舎出入口に向けた「監視カメラ」８台を設置し、地域に開放された大学キャンパスという側面も維持しながら学校環境や学生生活の安全を確保している。また、学年進行的に「学生駐車場」の確保（小城キャンパス周辺/駐車場の賃貸借契約等/152台分）を行い、地域の公共交通の縮小などに伴うマイカー化へ利便を図っている。なお、周辺の教育機関（高等学校、小学校、幼保連携認定こども園）との間で、交通安全等について話し合う学校長の集いの場を設けることができた。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・「西九州大学点検・評価に関する規程」第8条に基づき、4年を超えない範囲で公表する。

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和5年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和３年度）

a 公表予定の有無 〔 有 ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ 公表後３ヶ月以降 〕

c 公表方法 〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

西九州大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程

（趣旨）

第１条　西九州大学（以下「本学」という。）のファカルティ・ディベロップメント委員会　（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

（目的）

第２条　委員会は、本学の教育の理念・目標及び教育内容・方法に関する組織的な研究、研修の円滑な実施を図ることを目的とする。

（業務）

第３条　委員会は、前条に掲げる目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

（１）定期的なファカルティ・ディベロップメント講演会、研修会等の企画及び実施に関すること。

（２）その他本学のファカルティ・ディベロップメントに関すること。

（組織）

第４条　委員会は次に掲げる委員をもって組織する。

（１）副学長

（２）生活支援科学研究科長

（３）各学部長

（４）教務部長

（５）教務部副部長

（６）各学科から選出された専任教員２人

（７）事務局長

（任期）

第５条　前条第６号の委員の任期は２年とし、再任を妨げない。

２　前条第６号の委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第６条　委員会には委員長を置き、委員長は副学長をもって充てる。

２　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

３　委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代行する。

（会議の開催及び議決）

第７条　委員会は、委員長が必要と認めたとき、又は過半数の委員から要請があったときに、委員長が招集する。

２　委員会は、委員の３分の２以上の出席がなければ会議を開くことができない。

３　委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

（委員以外の出席）

第８条　委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

（専門委員会）

第９条　事業を円滑に遂行するために、委員会が必要と認めたときは専門委員会を置くことができる。

２　委員会が必要と認めた時は、専門委員会に委員以外の者を加えることができる。

（事務局）

第１０条　委員会に関する事務は、教務課において処理する。

（雑則）

第１１条　この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附　則（平成２１年７月１６日　制定）

１　この規程は、平成２１年７月１６日から施行し、平成２１年４月１日から適用する。

２　この規程施行後、最初に委嘱される第４条第１項第５号に規定する委員の任期は、第５条第１項の規定にかかわらず、平成２３年３月３１日までとする。

附　則（平成２４年５月１７日）

この規程は、平成２４年５月１７日から施行し、平成２４年４月１日から適用する。

附　則（平成２６年３月６日）

１　この規程は、平成２６年４月１日から施行する。

２　社会福祉学科、スポーツ健康福祉学科及び心理カウンセリング学科の委員は、第４条第１項第６号の規定にかかわらず当分の間１人とする。

附　則（平成２７年２月２５日）

１　この規程は、平成２７年４月１日から施行する。